新京日日新聞
夕刊
二月二十三日
本紙定價 一部五錢 一ケ月一圓 郵料一ケ月十五錢
廣告料 普通一行 一圓五十錢 特別同 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三―二六五〇・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 和波滋
印刷人 水越內之介

團體生保の創設に經營主體を繞る摩擦

交、經兩部案企畫處で檢討

政府は給料生活者の福利措置を講じ併せて物價對策の一環としての貯蓄奬勵による民間餘剩購買力吸收を圖る必要から法律に基づく團體生命保險制度を

創設 する事となつてゐるが、經濟部及び郵政總局に於ては夫々獨自の團體生保案を作成して企畫處に廻付してゐるのでこの兩者を企畫處が兩事務當局の間に立つて如何に調整を行ふかは極めて注目されてゐる、而して團體生保創設案の內容についてはその被保險團體、保險契約者被保險者、被保險者數、加入年齡、保險金額、保險期間、保險料など經濟部、郵政總局兩案とも大同小異であり、之等の點の勘案調整は比較的容易であるが

問題 はこの團體生保を如何なる機關をして行はしめるかに係つてゐるのであつて、經濟部は滿洲生命保險株式會社をして業務を行はしめんとしてをり、郵政總局は政府獨占事業として交通部大臣の管理の下に郵政總局自らこれを擔當せんことを主張してゐるため兩者案における經營方法の是非得失をめぐつて正式決定までには尚相當の審議折衝が續けられるものと見られる、郵政總局側の

主張 する團體生保は會社經營に比して經營費其他諸掛りにおいて寡少であるのみならず徵收保險金は政府特別會計の一部として直接國庫の增收となり國家的事業に對して極めて計畫性ある集中的投資を行ひ得るといふのである一方經濟部の滿洲生命をしてこれが營業を行はしめんとする

理由 としては團體生保が生命保險と直接的關聯を持つので團體生保の創設は或程度の生保分野の縮限は必至であり、從つて國策會社たる滿洲生命の存立權を脅かさないためには團體生保をも同社に行はしめることを以て可とするものである、しかるに郵政總局においてこれを行ふにおいては滿洲生命現營業權の約六割を侵害されることゝなり、斯くては同社設立の意義すら喪失の虞れあり尤も經營費その他の比較も一應問題にはなり得るが同社が特殊會社たることを考へれば左程相違を生ずべき筈もなく、よつて大局的に

檢討 した場合團體生保は滿洲生命をして行はしめる以外如何なる經營機關もあり得べきでないとしてゐる

山東半島の敵匪 一兵も殘さず掃蕩

北支軍報道部長談を發表

【北支廿三日發國通】今次魯東作戰はわが陸海軍の緊密なる協同の下に山東半島內の敵匪を一兵も殘さじと東方に追詰め多大の戰果を擧げ敵の蠢動を一擧に覆滅したが、北支軍では廿二日午後三時報道部長談の形式で左の如く今次作戰の成果を發表した

魯東作戰戰果

魯東作戰は陸海軍の緊密なる協同の下に尺餘に及ぶ積雪と酷寒を冒し山地內の移動極めて困難なるに拘らず諸隊の奮戰、力闘に依り所在の敵を擊碎しつゝ廿二日各戰闘部隊は早くも山東半島東端に進出し、こゝに本作戰の一段階を劃した、今後軍は山東半島內の治安の確立並に民衆の安居樂業に力を盡すと共にわが鋭鋒を免れて各所に遁竄した敗殘匪の徹底的潰滅を期するものである、もとより深く前非を悔い東亞新秩序建設の意義を理解し武器を捨てゝ皇軍に歸順するものに對してはこれを咎むるものでない事を附言する

である

浙東作戰戰果

【杭州廿三日發國通】今次浙東作戰に赫々たる戰果を收め目的を完遂したわが軍の廿二日正午までに判明せる戰果左の如し

敵遺棄死體 二、八七三 捕虜 三一六 鹵獲品―山砲四、戰車砲一二、迫擊砲五、その他兵器彈藥多數

要衝、郎溪攻略

【上海廿二日發國通】浙東作戰に呼應し江南の湖沼地帶に蠢動中の敵約二ケ師を覆滅すべく石井、土屋、吉田の各部隊は去る十九日未明蕪湖南方より敢然行動を開始連日泥濘の惡路を冒しつゝ破竹の勢をもつて席卷し廿一日午前七時七分敵要衝郎溪を攻略確保した、又前川、野田、鈴田の各部隊は右進擊部隊と策應し廿一日午前五時郎溪西北方梅渚鎭を急襲同地を攻略し敵江南挺進隊に大打擊を與へ引續き次期作戰を準備中である、なほ郎溪の敵彈藥庫はわが猛砲火の命中彈を受け火災を起し目下盛に延燒中

福建工作に成果

黃將軍、福建民軍將領と會見

【厦門廿三日發國通】去る十八日軍を厦門西南方大盤角及び港尾の線に進めた黃大偉將軍は同夜より廿二日に亘り豫て○○に招致待機せしめてゐた福建民軍首領及び代表卅數名と會見の結果、汪精衛氏の和平救國の主張に基いて福建を更生せしめること及び新中央政府支持に關する具體的意見の一致を見た、依つて黃將軍は特務工作隊を福建省內要地の平定につかしめた後、廿二日主力を率ゐ次期作戰の根據地たる○○に向ひ出發した、かくて新中央政府樹立前の福建工作は大成功裡に終了した譯である

わが海陸の荒鷲 柳州軍事會場を猛爆

會議中の敵軍將領に死傷

【○○廿二日發國通】南寧東北方の殲滅戰に慘憺たる損害を蒙つた支那軍はその敗因究明と善後策協議のため陳誠、張發奎、白崇禧その他軍長、師長等各將領を柳州に集め廿二日夜軍事會議を開催したが、この會議第一日の廿二日午後わが荒鷲は大編隊をもつて一擧その會場を急襲猛爆を加へた即ち同日午後五時過ぎわが陸の荒鷲須藤、丸田兩部隊は石川部隊長指揮の下に大擧出動、海軍航空隊の精鋭と合して一大編隊を作り密雲を衝いて柳州上空に達し郊外羊角山山麓の敗敵將領の軍事會議場を急襲、會場をはじめ附近に集つてゐた多數の乘用車、バス、トラック群に巨彈の雨を降らせてこれを爆碎、更に狼狽して逃げる自動車に對して徹底的銃爆擊を加へ多大の戰果を收めて全機無事歸還した、この急襲により會議出席中の支那軍將領中には相當の死傷者を出した模樣である

郎溪の敵敗走

【上海廿二日發國通】廿一日陸軍航空部隊田中部隊の偵察によればわが軍の江南湖沼地帶の進擊猛攻を受け敵は總崩れとなり郎溪南方に向つて敗走中であるが、廣德、寧國、南陵、宣城附近一帶は爭ひ逃げる人馬車輛で大混亂に陷り、敵後方部隊は極度に狼狽してゐる

南寧殲滅戰に 兩師長戰死

【南寧廿三日發國通】最近わが軍に捕へられた支那軍捕虜の語るところによればさきの南寧大殲滅戰において敵は豫想以上の大損害を蒙つたが、第九師長鄭作民第九十九師長姜簽亭は戰死しその他の師長の中にも戰死二名重傷二名のあつたことが判明、團長に至つては十數名の死傷者を出したといはれる

共產軍の橫暴に 中央、山西兩軍激憤

武力解決へ協同行動を準備

【太原廿二日發國通】太原に達した各種の情報を綜合するに最近愈よ傍若無人振りを發揮する共產軍に對し中央軍及び山西軍は遂に勘忍袋の緒を切つて山西省西北地區に於て八路軍の武力解決を決意したものの如く中央軍二ケ師は目下石樓、永和、大寧一帶に集結北上を開始し、楡林、興縣、靜樂縣などの共產軍陣地に索偵を放ち狀況偵察を行つてをり、同方面の山西軍もこれに協力目下某地點にて進擊準備中であり、更に閻錫山は一月下旬騎兵第一軍及び第十九軍等に對し黃河を渡河し陝西省に主力集中を命じ共產軍の退路遮斷に出んとする模樣である

これに對し八路軍は親明鎭、婁煩鎭附近の百廿九師三百五十八旅を去る八日頃より逐次西方に移動せしめ黃河沿岸地區に集結しつゝあり、更に軍渡北方十四キロの孟門鎭にあつた八路軍の一部は軍渡附近の三百五十九旅七百十七團の一部と合して黃河を渡河山西騎兵軍の進擊を阻まんとしつゝあり、國境の一大衝突は時期の問題と見られるに至つた

尚他の方面よりの情報によれば機嵐に開かれる豫定であつた山西軍と八路軍との調停會議は閻錫山が會議に出席を拒んだ結果遂に流會となり、閻は目下陝西省泉川に各區行政專員並に山綏軍團長以上の幹部を集め會議を開催中と云はれ、その內容も對共產軍武力闘爭に關し各種の對策を授けつゝあるものと信ぜられてゐる

山西軍系を虐殺

【太原廿二日發國通】黃河岸に近き山西省西北地區に無氣味な國共兩軍の大決戰が展開されんとしつゝある一方、各地方においては部分的な政治工作が熾烈を極め漸次殘忍な相貌を表面化してゐる、最近の情報によればかつては山西軍系であつた臨縣僞縣長は共產軍の赤化工作によつて共產派に轉向共產軍二百七旅の命によつて同縣の僞盟會及び各村長等を召集し抗戰救國大會を開き大會終了後、舊山西軍分子ならびに閻錫山系高務員、軍人及びその家族を悉く逮捕し銃殺或は追放の殘忍な處罰をとり、更に同大會の名によつて臨縣南方約八キロの安業村附近において捕虜となつた山西軍兵士八十餘名も銃殺に處しこの共產軍系の壓迫に堪へかねた良民及び山西軍關係者は離石、牛陽方面に續續と移住しつゝある

支那全土に 喜色溢れる

喜多中將東上談

【下關國通】一般狀況報告並に事務打合のため東上の興亞院華北連絡部長官喜多中將は淺井秘書官を帶同、廿二日空路太刀洗着同夜八時卅分發特急富士で東京に向つた、約一週間滯在の後歸任の豫定であるが、車中左の如く語つた

興亞の大業の一大推進力として新中央政府は近く雄々しく產聲をあげるが支那民衆は一日も早く新政府の確立を希望し支那全土に喜色が溢れてゐるこれに反して重慶政權は國共分裂の擴大が益々深刻化し自滅の一途を辿りつゝあるやうである

ゲリラ戰も やつとの蔣軍

戰闘力著しく弱化

列强の陸軍軍備情況をもる「帝國及列强の陸軍」昭和十五年度版はこの程陸軍省から發行されたが、それによると事變前二百十萬の兵力を誇つた蔣政權も徐州會戰で三十萬を失ひ、次いで武漢では五十萬を喪失現在百八十萬を持つに過ぎないが補充の質的低下によつて戰闘力は著しく弱化し各師の平均兵員六千內外を數へられてゐる、又裝備では國內の兵器製造能力の弱化、輸入ルートの潰滅によつて火砲は著しく缺乏を告げ各師平均の山砲數は三、四門といふ貧窮振りを告げ、小口徑銃器數の彈藥製造能力も僅かにゲリラ戰を支ふるに過ぎぬものである

滿洲向滯貨

鮮鐵打開策

【京城國通】捌いても捌いても押寄せる貨物のラッシュに鮮內の滿洲向滯貨は現に三千輛の夥しい數量に上つてをり鮮鐵ではこれが打開策に苦慮してゐたがこれが圓滑を期するためこの程滿鐵に對し

一、滿洲國の保稅運送を事故にも適用して安東通關を簡易化すること
一、安東稅關は休祭日と雖もこれが事務をとること
一、木材貨物など一定した貨物に對しては通關手續を極力簡易化する

との三項目の通告をなし滯貨輸送圓滑化の協力を要望した

蔡長官班慰問

滿ソ國境軍警慰問使蔡外務局長官、靑木法制處長の一行は廿三日午後二時卅分綏芬河經由東寧着、直ちに東寧○○病院を訪問、白衣の勇士を慰問したが引つゞき廿三日は朝來國境第一線の各部隊及び國境警察隊を慰問のゝち午後五時十五分東寧驛發列車で綏陽に向つた

鮎川滿業總裁 ミラノへ

【ローマ廿二日發國通】滿業總裁鮎川義介氏は廿二日午前ローマ發ミラノに向つたが同地軍工業各工場を視察の後廿六日トリエストよりベルリンに立寄り一週間滯在の上シベリア經由歸國する

英獨に和平兆す

ウ米國務次官の打診

【アムステルダム廿二日發國通】ウエルズ米國務次官は來る三月十五日頃ベルリンに到着、ヒトラー總統と會見してその和戰の意圖を打診するものと豫想されるが、ドイツ政界でも三月攻勢說が有力に傳へられてゐる一方その最後に和平說が根强く唱導されてゐる、ドイツ政界の信ずべき筋よりの情報によれば少くともドイツの意圖するところは八月頃までに對イギリス封鎖戰の敢行を完成し英國を和平に誘導せんとするにあると言はれる、ドイツ政府當局及び言論界は國民の團結を强化する對外宣傳として依然對英挑戰を續ける模樣で、ヒトラー總統の眞意を探ればなほ和平に對し相當熱意を持つてゐるものと推定される、ヒトラー總統の人氣は戰爭なくして戰爭に成功を收めて來た點にかゝつてゐるが、これを戰爭に導入することになれば批判の聲も自ら昂まつて來る、またた資源の點から見てドイツは二ケ年以內の戰爭なら大戰爭を繼續してこれに勝利を收める確信があるが、それ以上長期戰に亘るならばこの確信も次第に影薄くなる、併しイギリスと乾坤一擲の死闘に入れば二年はおろか四年、五年の長期戰を覺悟してかゝらねばならず、かゝる見地から飽まで和平を求め、假令攻勢に轉じても短期戰に依り和平獲得を望んでゐると見てよからう

「ドイツ側の條件」

ヒトラー總統その他政界中樞部の言明を綜合すると和平條件としてドイツが求める處は

一、植民地の再分割
一、世界經濟の再組織
一、軍縮

の三點につきる、これに對しイギリスの根本主張は

一、ポーランド及びチエコの分割
一、右兩國より領土不割讓並に無賠償
一、獨裁制の領土內にある國民の解放

等と見られるのである、而して植民地問題はドイツとしては平等權の問題として强硬に主張してゐるが實際は極めて柔軟性に富んだ問題であり、又ポーランド、チエコの分割もイギリス側にとつては面子の問題であり、必ずしもそのドイツ保護領化を妨げないのだからドイツの植民地要求と睨み合せて英獨間に妥協點を見出し得る問題であり、殘るは獨裁制の問題だが消息筋の情報によればヒトラー總統は最後の切札として帝政復活をさへ考慮してゐると傳へられる、ヒ總統の意圖する處はこれに依りナチスの施政を繼續化し同時にチエンバレン首相をして國民に對する面子を糊塗する逃道を與へ形勢を轉換するにありと云はれるが、ドイツ一般國民の間では帝政復活を支持するものが多數あり又かゝる大轉換を敢行させればナチスの施政に對する信賴を深めるとの見解が有力である、一方イギリスの立場から見ても英獨妥協に依りドイツ本來の東進政策に復歸させればヨーロッパの二大强豪ドイツ、ソ聯を嚙み合せることが出來、面子が立つ條件さへあれば妥協の餘地は未だ充分殘されてゐるわけである、從つて若し三月攻勢が實現されるとしても和平の切札は未だ出盡したとは云へないのである

ヒ總統の下野

ゲーリング元帥言明

【オスロ廿三日發國通】廿二日發行のアフテン・ポステン紙はニューヨーク特電としてウエルズ國務次官の渡歐に關し左の如き注意を惹く報道を行つてゐる、テキサス石油會社長トーキルド・リーバー氏の言によればゲーリング元帥は同社長に對し

一、ドイツは和平交涉を開始する用意あること
二、ヒトラー總統は下野の意向を有すること

を言明したと言はれる、ルーズヴエルト大統領がウエルズ國務次官を歐洲に特派したのは右情報を入手したためと考へられる【寫眞はヒトラー總統】

羅國戰時態勢

【ブカレスト廿二日發國通】ルーマニア政府は歐洲大戰のバルカンへの波及につき警戒してゐるが廿二日動員令を發動して全階級に亘る豫備兵を即時召集すると共に石油、小麥を除き國防に必要なる總ての原料品の輸出を禁止するに至つた

英船沈沒噸數

【ベルリン廿二日發國通】ドイツ軍司令部では去る十二日より十八日までの一週間に沈沒せる英船は總噸數十二萬八千噸に上る旨廿二日發表した

土國國防法

國家が統制

【イスタンブール廿一日發國通】トルコ政府は十九日の閣議で突如國防法の施行を決定、サイラム首相を主席とし大藏、商工、國防、經濟、交通、農林の七閣僚を委員とする閣內委員會の組織を發表して內外に多大の衝動を與へたが、右國防法には產業、交通、輸入貿易など各部門に亘る廣汎且つ嚴重な國家統制を決定したもので一種の國家總動員法とも言ふべく國內、國外に及ぼす影響は甚大と見られる、國防法に適用せられるものは

一、總動員又は一部動員
一、トルコ參戰の可能性ある時
一、トルコに影響する如き第三國間の戰爭勃發

の三點の場合に限られてゐる、從つてトルコ政府の今回の決定公布は右狀態の何れかに相當するものとの認識に基いたものとして注視される

人事往來

着京

▲片山淸二氏（滿赤理事）廿三日來京ヤマトホテル ▲吉田政治郎氏（滿鐵社員）同大都ホテル ▲山口外二氏（同）同 ▲今村知光氏（材木商）同 ▲深野修氏（會社員）同 ▲川崎義雄氏（官吏）同常盤ホテル ▲根本謙一氏（滿鐵社員）同國際ホテル ▲大澤勇氏（滿洲油化工業）同松屋ホテル ▲伊藤久男氏（官吏）同櫻ホテル

出發

▲中島勝次氏 大連へ ▲山室立之助氏 奉天へ ▲長田泉氏 双陽へ ▲櫻月新太郎氏 吉林へ ▲岩間壽三氏 同 ▲石田謙吾氏 同 ▲石田萬藏氏 奉天へ ▲佐々木重三氏 同 ▲井能軍孝氏 阜新へ ▲阪入政一氏 錦州へ ▲內海正氏 奉天へ ▲野村由太郎氏 四平街へ ▲田村昇氏 奉天へ ▲中西小一氏 同 ▲太友睦男氏 牡丹江へ ▲岩貫山男氏 吉林へ

團體往來

▲日滿軍系慰問四十五名廿三日午前十一時四十二分着京 ▲同六名午後一時三十分着京 ▲日系警察官二百名午後三時着京

その日〳〵

ひし〳〵といま、時局緊迫の實を感ずべき時なのである
◈
國都の、けふより三日間の緊張、それによつてしつかり自信を得よう
◈
市民の協力、訓練のうちに、互きなものを學び取りたい
◈
銃後にこの備へあつて、それでこそ輝かしい勝利がある
◈
ひらめく旗、行き交ふマーク、收穫を將來に保たればならぬ

護れ國都 總動員下の第一日

寫眞右上から警護訓練首都統監部の兩統監、地圖を前に作戰をねる右から于首都警察總監(統監)于市長(統監)關屋副市長(副統監)▼張國務總理の避難▼電々交換孃防毒マスクを掛けて必死の活躍▼康德會館避難所に馳込む小學生▼國務院玄關に掲げられた避難所の印旗

高鳴るサイレン!

全市完璧の防護布陣

空襲下に入る

警護訓練第一日

國都冬季警護訓練は二十三日拂曉午前五時を期して發せられた防衛下令を共に全市一齊活動の幕を切つて落し統監本部をはじめ地上防護隊は鐵桶の布陣下に敵機の襲來に備へ待機の折しも午前九時「警戒警報」は發せられた、合圖の靑旗はさつと全市主要箇所に各町家庭防護隊組長以上役員の軒先にと一齊に揭げられ無氣味な緊張を通行人に投げつけた、待機の傳令は八方に飛んで全市は緊張一色に塗りつぶされ果敢な警護訓練は次第に高潮に驀進して行く

さツと〝赤旗信號〟

息詰る緊張數刻

初見參の敵機空しく擊退さる

市公署新館地下室に設けられた統監部本部では直ちに活動を開始、各官廳自體防護團及び首都協和義勇奉公隊に指令が發しこゝに國都防衛の鐵壁の陣は布かれた

二十三日午前九時二十分吉林防衛司令官より

一、牡丹江及海拉爾は本日未明敵機の攻擊を受けたるも我が損害輕微なり

一、我が戰鬪機隊は本拂曉哈爾濱方面に南下中の敵爆擊機十數機を方正上空に捕捉し猛烈なる空中戰を交へ其の七機を確實に擊墜したるも殘餘を密雲中に逸したり

の警報に接し十時三十分統監部では直ちに空襲警報を發し全機關直ちに體制を整へ全市に響くサイレンの音に交通は遮斷され步道通行者もバス、自動車乘客も協和義勇奉公隊の一糸亂れぬ誘導裡に市內各特定の避難所に避難した、午前十一時空襲警報解除のサイレンに一時沈默した全市は再び甦つた、十一時二十分統監部より次の如き訓練狀況が發表せられた

新京に襲來せる敵機は我が勇敢なる地上防空隊の活動と警護各機關の適切なる奮鬪とにより極めて僅少なる損害を與へたるのみにして十一時十分退却せり

南廣場新京驛に爆彈

引續き午後三時十分再び空襲警報が發令され中央通、寬城子兩警察管內に於て特定個所に避難訓練開始、南廣場及び新京驛に投ぜられた瓦斯彈に衞生奉公隊防毒班の活動が開始され見事な防毒班の訓練が展開されたが三時五十分第三回訓練情況が次の如く發表せられた

只今の空襲に於て敵機は南廣場附近に一時性瓦斯彈を、新京驛に燒夷彈を投下したるも前者は衞生奉公隊防毒班の適切なる對瓦斯處置により被害僅少、後者は驛警護隊員の迅速なる活動により火災を未然に防止し得たり

奉公隊に慰勞金

國都の冬季警護訓練は愈よ火蓋を切り巷には義勇奉公隊、家庭防護隊の勇ましい活動が展開されつゝある折柄映畫館長春座專務取締役湯淺長四郎氏は所屬敷島區義勇奉公隊員の今回の訓練に對する勞を犒ふため金二百圓を寄贈した

學生奉公隊活躍

防衛下令下に豫て設置されてあつた法政大學(五十二名)醫科大學(五十二名)建國大學(百二十名)計二百二十四名の學生奉公隊員は市警護訓練統監部警察廳分室(本部)前に集結、防毒面及び腕章貸與の後二ヶ中隊に編成、第一中隊は四道街警察署に、第二中隊は順天署に出動、十時三十分空襲警報發令と同時に學生奉公隊員五名は警察官一名を班長として各班は二十數班に分れて各假避難所の人員調査を整然しかも敏活に行ひ初めての出動に非常な好成績を好めた

さらば母校

中學校晴の卒業式

五ヶ年の螢雪の功なつて—今日は晴れの活社會への首途第一步を踏み出す卒業式

新京中學では廿三日午前十時より同校講堂に於て第三回卒業式を盛大に擧行した來賓として日本大使館成田教務課長、民生部より次長代理和泉氏、同教育司長代理寺田編審官、協和會首都本部長代理中尾氏、江之村學校組合聯合會經理主任、大浦敷島高女校長、志崎新商校長、靑木錦ヶ丘高女校長、各日本小學校校長等

先づ一同着席敬禮後君ケ代合唱、勅語奉讀、奉答歌齊唱の順で式は進み續いて百三十八名の卒業生に矢澤校長より卒業證書を授與終つて優等生、篤行者、精皆勤者に對してそれぐ\賞狀及び賞品の授與があり十一時卅分式を閉ぢた優等賞授與者左の通り【寫眞は卒業式】

▲優等賞授與者

岡英夫(大使賞)高橋浩二、土屋正信、笹崎信重永島忠篤(以上新京教育獎勵會賞)

尙卒業生今後の動向は上級學校入學希望者百三十二名就職希望者六名で、上級學校入學希望者中最も多數を占めてゐるのはやはり各高等學校四十七名である

神經衰弱で縊死

廿二日午後六時二十分頃浪速町二ノ一二住吉鐵工場主熊野長男(二四)さんが家人不在中、中二階の梁に麻繩を吊し縊死を遂げてゐるのを外出から戾つた親が發見仰天して所轄中央通署へ屆け出た、係官檢視の結果長男さんは四年前急逝した父親周平さんの跡を繼いで一家の大黑柱となつてゐたが、二年前より神經衰弱に罹り最近非常に容態が惡化して來たのでかねて家人が注意しつゝあつたもので發作的自殺とみられる、別に遺書はない

發車間際の乘客を

白旗揭げて誘導

臨機應變 驛員の處置見事

第一回空襲警報のサイレンが鳴つた午前十時三十分新京驛では新京鐵道警護隊員驛員の手による自體警護の眞面目を發揮した、空襲と同時に十時三十分發營口行三〇列車はサイレン鳴り亘る中を靜かに南行したが同三十二分四平街より到着の六九列車乘客は下車と共に隊員、驛員のメガホンによつて避難所三等待合室へ步調揃へて整然と避難しその協力ぶりに係員を感激せしめた

ついで同五十五分白城子行八四一列車に乘る客が發車に遲れては氣の毒と驛員は警護隊員と連絡協調下に白旗を持つて驛前廣場附近に避難してゐる人々の中から白城子行列車に乘るお方は一諸に來て下さいと探し廻つて支障なく乘車せしめたが乘客一同感謝してゐた

指導不徹底!

長通路署員〝黑星〟

防衛下令とともに敵機の空襲いまや遲しと待機する、中央通防衛支部に午前十時三十分空襲警報は鳴り響いた、市原署長以下支部員らすわこそ敵機見參と緊張の色を漂はせつゝ全署員、補助員所定の部署につき、人馬織る車道の交通整理、公共避難所への誘導に大童の活動を開始、市原署長は支部員らを從へて第一回空襲警報下の管內狀況を詳さに視察した

先づ新京驛附近は新京鐵道警護隊、派出所員、補助員の協力で驛前廣場(避難所)に通行人約二百名を巧に誘導避難せしめ一方車馬一切ぴたりと停止待避して防備に遺憾ない、次いで日本橋通は避難所南廣場、記念公會堂その他箇所へ一糸亂れず避難して良好だが、大馬路、朝日通、日本橋通交叉點附近殊に長通路署員は何を感違ひしてか空襲下の最中に馬車を待避せしめることなく客が乘つたまゝ大馬路より舊國務院(日本橋通封鎖によるる)を右折して東五條通方面へ解除まで頻々と往來せしめ待避、避難したものに反感を抱かせ初日第一回空襲警報とは云へ冬季警護訓練の趣旨不徹底の憾みあり、これらの殆んどが滿人であつたことに注目今後に期待されるが一部邦人間には滿人警補助員の指導を肯ぜぬ不屆者があり反省が望まれてゐる

一糸亂れぬビル街の避難ぶり

全滿最初の冬季警護訓練第一日國都大同大街のビル街でも一糸亂れぬ避難演習が行はれた、まづ午前十時半第一回空襲警報のサイレンが鳴り響くやビルの窓々に揭げられた靑旗はさつと赤旗に變り各オフイスで執務中のサラリーマンやタイピストたちがメガホン片手の係員の指示に從つてそれツとばかり整然地下室の指定避難所へ僅々十數分にして見事に避難を了り、流石近代生活に慣れたビルマンらしい小氣味よいところをみせた

係官も顏負 訓練知らぬ男出現

「國民防空は市民の手で」と國都全市民が眞劍に本訓練に當つてゐる然も空襲管制下にあつた四道街署新市場派出所第一避難所にこれは又とんだ飛入りがあつて係官を手古摺らした

十一時二十分頃同所の避難指導に當つてゐた係員の前を悠々と步行する男が居るので係員は直ちに避難するやう命じたにも拘らず「何で步いてはいかんのか」と反問「我々が通行するに差支へは無い筈だが大體何を行つてゐるのか?」と時局を辨へぬも甚しい言葉に驚いた滿系警察官が小林警尉補にこの旨を告げたので同警尉補は件の男に諄々と警護訓練實施目的から市民の協力に迄說明してやつと避難所に連れ込んだものであるがこの樣な男の出現は始めてであると一同あきれ返つてゐた

張總理も參加

國務院の警護演訓

午前十時警護訓練第一日の國務院へ不氣味に響く敵機空襲のサイレン「スハ敵機だ」三階建の廳舍に執務する全廳員や折柄國務院を訪れた外來者たちもかねての手筈通り淸水事務官の指揮下に些かの混亂もなく靜かな足どりで地階第一から第四までの避難所にそれぞれ避難したが張國務總理も六十八歲の老軀を謝秘書官、參議連にまもられ悠々と地階弘報處映寫室に避難、映らぬスクリーンをみつめたまゝ「敵機去る」までの三十分間無言の行をつゞけた

警報—避難まで

『十分間の』活用不充分

市原中央通署長管內巡視談

管內を巡視した市原中央通署長は次の如く語る

大體良好であつた、然し警報を發せられてから避難するまで十分間の猶豫を與へられてゐるが、この十分間認識が不徹底のため避難までに相當の時間がかゝつたやうだ、避難を迅速にするために指導者は空襲警報と同時に通行者に停止を命じ避難させるべきである、但し近くに自宅を持つものはその限りでないが、倘かる際一般通行人は日滿人を問はず指導者の命令に服從されたい

マスク傍に死守の覺悟 交換孃

通信の中樞神經を司る新京中央電話局では早朝から刻々入電の情報電話のため交換孃の緊張感も一段と昂まり防毒面を傍に國土防衛の重要員として女性ながらも天晴れの活躍を遂げた

午前十時半第一回の空襲警報の合圖と共に休憩員は一齊に避難したが、職場にある交換孃たちはたとへ敵彈が飛んで來ようとも交換臺を死守するの意氣込みで數々の想定の下に實戰さながらの力強い奮鬪を續けるのだつた

廿戶を燒く

小盜兒市場朝火事

二十三日午前四時頃東三馬路小盜兒市場古物商張雲祥(三八)方から發火、木造家屋のことゝて火は見る見る燃え擴がり、新京消防署必死の消火作業にも拘らず一甜め二十數戶を全燒して同八時漸く鎭火した、原因は目下所轄長通路署司法系で取調べてゐるが損害は曰くある同市場のことゝてストツク品も大小あるが約二十萬圓と云はれてゐる【寫眞は火事現場】

西四馬路火事

二十二日午後二時四十分頃西四馬路一六八ノ三振興隆家具店趙臨祥(三五)方二階から發火、またたく間に同家を全燒、隣家森永洋行慶合源三興洋行に延燒折から馳せつけた消防署員の目覺しい活動に依つて同四時十分頃鎭火したが、原因は二階三疊の間に置いてあつたストーブを焚きすぎ煙突の過熱に依つて天井に引火したもの、南隣は幸にして全燒は免かれたが森永洋行は五千圓、三興洋行は二千圓、振興隆家具店は二千五百圓の損害を被つた

市川左團次丈

【東京國通】わが劇壇の名優市川左團次丈(本名高橋榮次郞)は膽囊炎のため去る廿日から京橋區木挽町南胃腸病院に入院加療中であつたが廿二日深夜に至り病勢革まり廿三日午前零時五分枕頭に詰めかけた富子夫人、大谷松竹社長、羽左衞門、菊五郞丈等親戚知己多數に見守られ眠るが如く息を引取つた、享年六十一

原田元同志社總長

【京都國通】元同志社總長原田助氏は廿二日京都市上京區北山町三丁目の自宅で逝去した、享年七十八

あす(廿四日)

△多季警護訓練第二日
△訓練計畫審議會 於協和會首都本部午後三時より
△新京商業卒業式 於同校午前十時
△發明協會會合 於日滿軍人會館午前十時より
△勞工協會會合 同前
△馬政局會合 同前

歷史

△旅順港第一回の閉塞戰(明治三十七年)
△ヴエルダンの激戰開始(大正五年)

今晚の放送

▲七・三〇(東京)國民歌謠「誓ひ」▲七・四〇(新京)講演「滿洲生活の合理化とは」木村正道▲八・〇〇(東京)ピアノ獨奏川正浩▲八・四〇(東京)講談「龜甲縞」一龍齋貞山▲九・一〇(東京)時事解說

刀筆鏡

高津愛子から名前を並べただけでかつての映畫女優かとすぐうなづける程廣く行渡つた名前である、いや映畫女優としては勿論の事ではあるが國都ネオン街ファンにはまだ親しみ深い名でもあらう▼彼女が映畫から足を洗つて初めて新京に姿を現はし大同大街を颯爽と歩るいてゐた時どこかの新聞は五段抜でその颯爽たる寫眞を掲げ高津來ると鼻の下の長いのを吃驚させたのである、さすが宣傳によつて生きた女だけあつた、その宣傳ぶりの巧やかさには萬鏡子だつてひそかに味をやるわいと感心したのである▼それから妖艶高津來るの報に國都ネオン街は騒ぎ立てた然し時既に女優には幾多苦い經驗を體驗したネオン街であつた、欲しくはあるが、どうも妥協點が見出しかねた、彼女の動向を注目されてゐた折柄、亞細亞會館に一寸姿を現はし續いてニユー新京へ移つてこゝに暫く女給生活を續けてゐたが、いつとはなし消息をぶつり絶つた▼それから彼女はハルビンのネオン街に移つたのである、あの妖艶と映畫女優を看板に異國情緒ハルビン夜話を體驗したかどうか其點はつきりしないがともあれハルビンも彼女にとつて安住の地でなかつたのか一月前再び新京に舞ひ戻り南廣場ミス東洋にどつしりと腰を落ちつけた▼彼女にして見れば同じ女給生活であつても華やかだつた過去を追つて昔忘られぬ夢に生きたかつたのだらう具體的に言へば女給でなくフリーとしてオールサービスにあの席この席に轉々カクテルの一杯も頂いて「高津孃の健康を祝して」なんて乾杯されることを望んでゐたことであらう▼だがそんな時代はもう過ぎて了つた、單なる女給として彼女は腰を落ちつけたのである、夢の中にうかうかして生きるよりともあれじつと腰を落ちつけて自分の力で生きて行く事が彼女の爲によい事であらう、若い時はさういつまでも續く物ではない▼まだ彼女から種となる浮いた噂も聞かないがやはり知られた女だけに街を歩いてゐる姿をちよいちよい見受けると本欄のファンから報告に接する「おい高津君にはこれが(親指を出して)あるの?」「俺れは知らん、聞いたこともないし」「だつてよく二人連れを見かけるんだ…」ある日の高津ファンが氣にしてゐた立話であつた高津君御用心

國境の花〟その他
□□お粗末極る滿映作品

新映畫評

これはまた愚にもつかぬ作品だ、三流四流の一寸恥かしい様なお粗末さ加減である、スーパーがしてないし筋書も讀めないのではつきりした事は言へないが、蒙古に近き國境にある女(王麗君)があつてその戀人(隋尹輔)は兵隊である、ある日戀人を訪ねた歸途彼女は惡漢(徐聰)にその巣窟につれ込まれる結局惡漢共が酒に醉つぱらつた隙を見計つて繩目を切り秘密文書を手に入れて惡漢を射殺し夜の草原を脱走する、その秘密文書が不法越境の外蒙軍を撃退する手づるになる。

□□

强ひて言へば結末をノモンハン事件に結びつけた點に味噌があるらしいが、味も實もない駄作である、蒙古の風物なぞは面白い所もあるが劇との繼ぎ目が緊密でない上に何かの實寫映畫或ひはニユース映畫からの借着があまりにも身についてゐない感じである、之が又お芝居が初まると大變なものでお粗末さ加減には辟易すると共に水ケ江氏の演出が之に輪をかけた粗雜ぶりである。

□□

そんなものでも滿人觀客には面白いらしく女が惡漢共を射殺し惡玉の部下と馬に乘つて追ひつ追はれつするあたりでは拍手が起つてゐるのである、此の程度の貧弱なスリルやサスペンスに手を叩く素朴な彼等に此の様ない加減な誤魔化しものを押しつけるのは可哀想である、戰爭場面もつまらぬし終りが又至極あつ氣ない、國策映畫とは言ひ乍らひどいものである、プリントも所々しみがあつて汚い、滿人間より滿映マークの不評が此の邊から起らねば倖である。

□□

入りは六分位、之に大谷俊夫監督の「我們的軍隊」がついてゐるが此の方は國軍の生活ぶりが中々面白く描かれ、劇映畫ではないが國軍の全貌を紹介して可成り優秀である、適度のユーモアは滿人大衆にも受けてゐる、一カツトであつたか季燕芬の艶麗さが鮮やかに印象に殘る、先週は「木蘭從軍」の記録を破つて大當りを取つた「紅樓夢」を見たが之は全然珍糞漢であつた、次週は廿五日より「旋風タルマツチ」その他を短期上映する由、古いロイドの喜劇物など大した受け方である、尚一般大衆には兎も角滿映作品が完成された場合には一應新聞關係その他には見せて戴きたいものだと考へる。二十四日迄國都劇場(國泰)上映、寫眞はその一場面【萱】

▽祝言太閤記△ お馴染み太閤記木下藤吉郎物語り、秋篠册次郎と民門敏夫のシナリオにより草履取り時代から長短槍試合に奇略を以つて勝を制するまでのエピソードに、美しい寧々との戀を綾として添へる、藤井貢主演に海江田讓二、本郷秀雄、北見禮子が助演、演出には秋山耕作が當つた、長春座上映中

演藝

豐劇と朝日座寫眞替り▼豐劇は「まごゝろ」と「東京ブルース」の東寶二本、澁いものと派手なものが並んだ、先週洋畫全プロは平凡な成績に終始、一頃のやうな調子が出なくなつた▼朝日座は「花園の天使」と「鞍馬天狗復讐篇」の二本立で、日活プロは時代劇さへ確つかりしてをれば先づ間違ひはない▼新興「娘義太夫」は野淵昶の監督作品、娘義太夫を引つぱつて來て義太夫を聞かせようといふ趣向は、長唄を聞かせるのと軌を一にするが、義太夫と新興マークのうつりは中々よろしい▼若い醫學生に貢いで出世を待つ太夫一座の若師匠が、結局男のために別れるといふ悲戀か、母親の曾ての同じやうな悲しみを添へて、薬の利いたお涙頂戴物となつてゐる▼多少女義太夫なるものゝ持つ雰圍氣を出してゐるといふだけで、野淵昶の演出には依然として何ら目直すべきものもなかつた

近藤勇

橋爪彥七

西正世志畫

(百四十六)

海路(一)

幕府の軍艦富士山丸は、しづかに錨を拔いて、將軍座乘の開陽丸の後を追つてゐた。

空は、よく晴上つて、波はおだやかだつた。

侍が一人、ぼんやりと、甲板の欄に凭れて海を眺めてゐた。

三室三之丞——新選組生殘りの一人だ。

艦には、近藤勇をはじめこの三室に至るまで、すべて四十人の隊士が乘り込んでゐる。

三室は、將軍家が、天滿橋から茅船で天保山沖にかかつてゐる開陽丸に落ちた時に、其處まで供をした一人だつたし、いまかうして隊士一同が、同じ艦で、將軍座乘の開陽丸を追つてゐることは、何かしら、明日の光明が待たれるやうで、賴母しかつた。

(大變な世の中だ)

と、鳥羽伏見の戰ひのことなどを、遠い昔の昔の中のことだつたやうに思つたり、親藩の尾州が、煮えきらなかつたことが思ひ出されたり、

(彥根も、藤堂も、敵に廻つたのだし——)

考へると、紀州だつて、怪しいものだし、誰もが、自分を守ることだけに懸命になつてゐる相を思ひ浮べて、苦笑した。

『おい』

いつの間にか、平隊士の並木が側に來てゐた。

『何をしとをる?』

『海を見とをる』

同じやうなことを云ふ三室に、

『氣樂だなア』

と、並木が、笑ひかけた。

『なぜ?』

と、問ひ返す三室に、

『おれたちは、これからどうなるだらう?』

さう云ふ並木の顏は、妙に暗いものだつた。

『なアに』

と、三室は快活に云つて、

『どうにかなるものだよ。世の中ッて奴は、これで、割合にうまく出來てゐるよ』

『ふむ……』

『見給ひ、もう、陸があんなに遠くになつた』

『もうどんなことがあつても、此處までは、大砲も飛んで來ないし、鐵砲の彈丸も——』

『いゝ氣なものだ』

並木は、三室の氣持が羨ましかつた。

噂では、有栖川宮が征東總督で官軍と新に名附けられた勤王方の兵が、東海、東山、北陸の諸道へ向つたといふし、これで、江戸へ戻つて、また戰かと思ふと腹が立つのだつた。

『並木』

『うむ?』

と、友の顏を見る。

『久しぶりで江戸を見るのだぞ』

『……』

『金はあるしさ、む? どうだ、まあさう案じたものでもないぞ』

並木は、懷を漬物の上から押えてみた。

金……。

さうだ。この金……?

伏見の本陣で、分配を受けた軍用金は、少しも使つてゐなかつた。

『これで、久しぶりに、江戸に歸るのだから、江戸もどうせ變つてゐるだらうなア』

『さうだらう』

並木は、ぽつンとかう云つた。

(變つてゐるとも!)

六年前に、江戸を出る時だつてもう江戸に見切りをつけて——大體、これから江戸で、何をするつもりか? 將軍家が、大政を奉還された以上、幕府は瓦解したのだし、さうだとすれば幕府の軍役は?

ふゝン……。

と、嘲笑が、自然に浮いてくるのだつた。

商況

海外經濟電報（三日前場）

倫敦金塊　一六八志〇
倫敦銀塊　二〇片四分一
同先物　二〇片四分一
紐育金塊　休み
同銀塊

▲外國爲替　ワシントン誕生日に付休會

米英爲替
米日爲替
米支爲替
英米爲替
英日爲替　一志二片三分九
英支爲替　四片八分三
英佛爲替　一七六法五〇
米獨爲替　四〇仙二〇

▲紐育株式　スチール株　アナゴンダ　ワシントン誕生日に付休會

▲紐育棉花　ワシントン誕生日に付休會

▲印棉

現物　一月限　三月限　五月限　七月限　十月限　十二月限　休會

ブローチ　二六二留比四分一
オームラ　二三三留比四分一
ベンゴール　一九六留比四分一

各地株式市況

▲東京株式(短期)　寄付　大引

新東　大新　鐘紡　同新　帝新　洋曹　日鑛　日鉛　同新　日石　日立　滿業　電工　東電　日電　滿鐵　鑛新　日曹　[illegible]

▲大阪株式(短期)

大新　新東　鐘紡　同新　滿業　日曹　[illegible]

株式 公債
大一證券
新京吉野町一丁目
電(3)五九七・四〇六五・四二〇八

▲大連株式(短期)

帝新　商船　五品　大新　新東　滿業　鐘紡　同新　滿鐵　土木　新豆　[illegible]

各地産品市況

▲大阪綿布　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　[illegible]

▲東京人絹　當限　[illegible]

▲大阪綿花　納會　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　[illegible]

▲大阪期米　當限　中限　先限　[illegible]

▲大阪人絹　當限　五月限　六月限　七月限　[illegible]

▲橫濱生糸　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限　七月限　現物　出來不申　[illegible]

土曜　丁酉　大安　危　柳宿　舊正月十七日

七

東京・本郷・神誠館

●一白の人　新しき事に手を出す時は後日悔ゆる事あり乙と庚と戌が吉
●二黑の人　巧みなるより拙き方が未來の勝はあるべし卯と壬と丑が吉
●三碧の人　惱み多き行先も時節を待てば開け來るべし甲と庚と辛が吉
●四綠の人　外に出ては口舌を愼み世話事は目上に讓れ乙と巽と庚が吉
●五黃の人　心に油斷なければ邪魔も付け入るに道なし丙と丁と壬が吉
●六白の人　投機には失敗の日文學上の事には成功大吉丁と未と壬が吉
●七赤の人　小故はありと雖も本業は順調に行くべき日未と癸と丑が吉
●八白の人　內に多少の行違ひありとも大體順調に運ぶ乙と丙と未が吉
●九紫の人　和合さへ固守すれば無二の吉日と成るべし庚と辛と戌が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 和波
印刷人 水越內之介

親見の日をお待ち申上ぐ

本庄繁大將謹話

【東京國通】今春五月滿洲國皇帝陛下には御訪日と決定、全國民等しく感激の裡に輝やかしきこの日を御待ち申しあげてゐるが、中にも一入深き感激の下に御旅路に幸あれと祈る武人がある、現軍人保護院總裁男爵本庄繁大將がそれだ、同大將は昭和九年滿洲國建國當時關東軍司令官として赫々たる武名と共に建國蔭の功勞者であり、更に昭和十三年皇弟溥傑氏御婚儀に仲人としてこの大任を果した、同國帝室とは光榮ある繋りを持つ人である「兩國の親善と東洋平和確立のためこの度の御來朝は新東亞建設の聖戰に我國が邁進してをる時特に意義深い次第です」と冒頭、二十二日夜中野上ノ原の自邸で次のやうに謹んで喜びを語るのであつた

建國から既に七年、滿洲國も確たる礎の上に益す繁榮を續けてをることは慶賀の至りです、この度は又皇帝にも種々御心勞の多いことゝ拜察してをる次第です、司令官を退いて後親見の榮に浴したのは御婚儀の時で新京に赴いた時でした、最近阮駐日大使の話によればかたじけなくも吾々當時の關係者の消息を御關心あらせられるとの事で洵に光榮の至りと感激してをります、承れば御滯日は比較的短時日とのことですがただ拜見のその日を御待ち申しあげてゐます

秩父宮殿下鹵獲兵器を台覽遊ばさる（南支○○にて御左端が宮殿下）

武勳輝く皇軍部隊 西北作戰に奮戰の○○部隊步武堂々○○驛前大行進

國共軋轢激化に申入れと新指令

第三インター極東局の緊急對策

情報によれば第三インター極東局は去る一月二日より六日間に亘り支那の某所において緊急會議を招集し各國の共產黨代表廿七名出席の下に支那事變を中心とする最近の國際關係を檢討して之が對策を協議し、國共間の軋轢が漸次激化し遂に昨年來全面的危機に直面してゐるので、之が對策についても討議し中共に對する國民黨の態度是正を要求し同時に國民黨をして徹底抗戰を繼續せしめることによつて中共の勢力を擴大する見地から中共を通して國民黨に提出する「申入書」ならびに「中共に對する新指令」を討議の上決定した、右申入書ならびに指令の要旨左の通り

國民黨への申入れ

一、國民政府、中央軍政兩機關は共に全面抗戰主義に基き出來る限り第八路軍將領ならびに西北遊擊隊下級幹部の意見を尊重し共產黨の自由活動とその希望に一層大なる支援を與ふべし

二、第八路軍の過去の功績は一般の感謝と稱讚に値する、同時に北支特區における獨立判斷に基く第八路軍の行動は大目にみられねばならぬ

三、第三インターは日本によつて企圖される和平運動が支那民衆間に重大不安を惹起し、特に汪精衛およびその一派の變節者等が反日戰線から落伍したことにより最高潮に達しつゝある現在の形勢に重大關心を拂ふものである、今後國民黨員ならびに資產階級中變節者の續出により支那國民間に一層の不安が釀成される可能性あり、且つ英米の對支援助も現在停頓しつゝあるから徹底抗戰の主義を奉ずる國民黨は不健全分子肅淸の決議を實行し且つ右肅淸の意見及び實行手段に充分の尊敬を拂ふべきである

四、第三インターは對日抗戰において現在支那が第二次の重大危機に直面しつゝありとし國內においては燃え上る和平熱を消し止め、國外においては國際信用を回復するため國民黨が近く各前線に命令を發し敵陣に對し反抗を開始して重要都市の奪回に努力せしめ又正式に對日宣戰を布告すべきである

五、世界の輿論を支那に有利に導き且つ現在の外交上の暗礁を打破するため國民黨は全外交陣を動員駐ソ大使を中心に多邊的外交委員會を組織し活潑なる外交鬪爭を開始すべきである

中國共產黨への指令

一、抗戰第一段階における國共協調が大成果を收めた事實は廣く宣傳すべきであり、同時に國民統一戰線强化のため重ねて階級鬪爭の停止方を力說すると共に無產階級を獲得し地方組織設立に努力し將來の勢力獲得鬪爭に備へねばならぬ

二、國際宣傳戰の分野においては民族的抗戰の優勢を第三國國民に宣傳し且つ中國共產黨ならびに西北特區に關する逆宣傳を粉碎せねばならぬ

三、中共は國民黨との關係惡化を防ぐため、かなり國民黨軍駐在地近接區域への進軍を回避せよ、日本軍との戰鬪に際しては中共軍は國民黨軍に先んじて戰へ、又國民黨軍が退却を餘儀なくされた場合でも共產軍は民衆と共に留まり勢力の增大を圖るべし

四、第八路軍麾下軍隊は國民政府の總攻擊令を積極的に遵守せよ

五、北支の遊擊隊は河北省東部においてはそれぞれ長城に向つて進擊し日本軍の後方攪亂のため滿洲國內に潛入すべし

六、西北における中共本部は國際赤色ルート保護のためその軍隊を甘肅、寧夏、青海方面に派遣し西北各種族を獲得し外蒙及びソ聯と協力の下に西北滿洲國及び內蒙を包圍する大赤色鐵環の一環となすべし

輝く紀元二千六百年史に刻む

滿洲建國を記念し一德一心の結合强化

帝都に展く慶祝大繪卷

【東京國通】新綠の候再度滿洲國皇帝を奉迎する日本朝野は早くも萬般の奉迎準備に着手し紀元二千六百年史に刻む豪華な日滿國交の日を鶴首御待ち申上げてゐるが、帝都では三月一日の滿洲建國九周年記念日に際しても日滿兩國民の一段の力强い精神的結合具現に資するため意義ある祝典行事が賑々しく實施される事となつた、日滿中央協會始め日本、滿洲兩國の關係各團體共同主催の下に當日は目貫通り上空數ヶ所に「慶祝滿洲帝國建國記念日」のアドバルーンを浮かせ電車やバスには日滿兩國國旗を交叉して記念日への關心をそゝり街には內原訓練所の滿蒙開拓青少年義勇軍三百名を始め帝都の男女青少年各團體、各婦人團體、男女學生生徒約二萬名の一大旗行列を展開、夜の日比谷公會堂には日本側米內首相以下陸、海、外、拓務各大臣、本庄、菱刈兩大將等朝野の著名士ヒ阮駐日滿洲國大使以下の滿洲國各機關代表等を來賓に迎へて盛大な九周年記念祝典が催される等終日滿洲建國の慶祝行事で賑ふことゝなつてゐる

佳木斯各隊を慰問

日滿軍警慰問の總務廳次長一行は廿二日午後七時卅五分着列車で日滿軍官民多數の出迎へを受けて佳木斯着宿舍伊勢屋旅館に入つたが一行は廿三日午前九時から省公署、○○部隊、陸軍病院、憲兵隊ならびに第七軍管區、治安部病院等を歷訪それぞれ慰問を行ひ廿四日午前九時十分發列車で鶴崗炭礦を訪問、同日佳木斯に歸着一泊の上廿五日午前九時發列車で牡丹江經由新京に歸還する

呂大臣慰問班

日滿軍警慰問團呂達業部大臣班一行は廿二日黑河到着廿三日は早朝來、滿ソ國境最前線に日夜奮鬪を續ける日滿軍警及び白衣の勇士に感謝と慰問の言葉を述べたが廿四日午前八時發列車で孫吳に向ふ

獨人引渡要談

【東京國通】英國大使館ドッヅ參事官は二十二日午後五時半外務省に西歐亞局長を訪問、淺間丸事件關係ドイツ人引渡し問題その他につき要談を遂げて同六時辭去した

貴院本會議

質疑に活氣漂ふ

百二億豫算案上程

【東京國通】二十三日の貴族院本會議は衆議院を通過した百三億の尨大豫算案を還附されて珍しく活氣を漂はす、午前十時四十五分開會、櫻內藏相より先般衆議院でなせる財政演說に「緊急已むを得ざる經費は追加豫算にして協贊を求める」點を追加した財政方針に關する演說を待つて質問に入る

・岩田宙造氏（和）議員が國務大臣の演說、豫算案その他政府の說明について質疑を行ふは議員が職責を盡す上に缺くべからざるものである、然るに政府は議員の質疑に對し全面的に拒否し得るとの考へを持たれてゐるやうにも見える、若しかゝることありとせば議會の權能の上に重大なる影響あり由々しき問題と思ふ、首相の所信如何

・米內首相 政府においては議員の質疑に對し全面的に拒否する意向は有してゐない

と政府の議會に對する見解を述べ、請願委員長堀田正恒伯より委員會の結果を報告し

一、要塞地帶法中改正法律案（政府提出）

を上程畑陸相より提案理由の說明あり

・淺田良逸男（公正）防諜その他の見地から外人に對する取締りは一層强化する必要がある、又不必要な地點で人民を束縛してゐることがあるやうに思はれるが制限の解除し得るものは速かに解除し人民の權利を擁護されたし

・畑陸相 合理的運用により人民に迷惑を及ぼさぬやうにしたい

かくて本案を委員附託とし更に軍用電機通信法中政府法律案外一件を委員附託とした後請願五件を委員長報告通り採擇十一時五十六分休憩

午後一時三十七分再開、十六日大河內輝耕子（研究）の產業組合、保險事業進出問題に關する質疑に對し農原商相より「所管省たる農林省と詳細打合せの上態度を決定したい」旨答辯し財政演說に對する質疑に入る

正義外交を强調

外交の拙劣さ不統一を衝く

・副島道正伯（研）英米獨ソ等如何なる國を問はず帝國は正義外交を以て進むべきであり支那事變がその眞意を誤解されてゐることは遺憾で特に英國に付ては慎重考慮せねばならぬ點が多々あると思ふ、日本は今日まで侵略主義で進んだことはない、列國から侵略國視されてゐるのは外交の不統一と拙劣さによるもので、また不謹慎極まる言辭を弄する者があるからである、かゝる機會を與へる以外何物もない、日本は議會では大言壯語を吐くに拘らず國際場裡に於ては遠慮勝ちである、在外使臣は各々駐在國に固執して任地國との親交を增すことにのみ汲々たる有樣である、駐在武官に付ても同樣のことがいひ得ると思ふ、海軍が兵學校卒業後遠洋航海に行き國際認識を深めるのは良い、陸軍でも具體的な教育に入る前に世界を見せたらどうか、これに要する經費はどうでもなる、東亞新秩序建設に邁進する今日幾多將兵の尊い犧牲を基礎に正義外交を振翳して進まねばならぬ、媚態外交を拋棄して支那事變の眞意を理解せしめ恆久平和を欲する國と提携し正義外交をもつて堂々進むべきである外相の所信如何

・有田外相 日本の眞意を諒解せずして侵略主義呼ばはりをするのは遺憾である、外交は常に公明正大に行はれてゐること勿論である、東亞新秩序建設については列國に對してもわが眞意を理解せしめるやう努力してゐる、外務省に對する世間の非難はいろいろ聞くが若し惡い點があれば改めるに吝かでない

・米內首相 御趣旨は諒承した、官民一致協力して聖旨に副ひ奉らんことを期してゐる

・副島伯 英米の中には日本の眞意を諒解せざるものがあるから特にこの點に留意せられたい

・深尾隆太郎男（公正）戰時體制の確立は生產力の擴充が重點をなすことはいふまでもないが滿洲では財閥を排擊し北支では一業一社主義をとつてゐるため開發が著しく遲れてゐる、これ等はいづれも革新イデオロギーに基くものであるが革新には必ず摩擦が伴ふ、この摩擦のため生產力擴充が阻礙されるやうにでもなれば重大な問題である、物價政策も漠然たる一律主義の低物價政策では極めて危險である、生產力擴充のために價格適正を速かにやる必要がある、政府の所見如何

・米內首相 政府としては低物價政策を堅持して個々の物資につき適正價格を決定する方針である、又生產力擴充に當り官民軍が互に連繫することは勿論である

かくて三時四十分散會

親日軍勢の猛威

怯える蔣政權血迷ふ

【京城國通】蔣政權の敗色は如何にしても糊塗すべき何ものもないが朝鮮軍報道部の發表によれば今度は懸賞金戰術といふ愚にもつかぬ戰術を考へだし親日政府の麾下にあつて發剌たる活動を見せてゐる建國軍或は綏靖軍などに咬みつかうとしてゐる、敗戰につぐ敗戰にその命脈も枯渇に瀕した蔣介石軍は愈よ土壇場の足掻きとして凡ゆる苦心を練り斷末魔の抗日を呼號してゐるが、一方新政府の胎動につれて親日政權の麾下に猛威を揮つてゐる親日軍隊たとへば建國軍とか綏靖軍等の活潑な活動に懼れをなした第四戰區司令張發奎は最近これ等親日軍の屠殺獎勵暫行規定といふ笑止千萬な布告を發した、親日的な將兵の首に左のやうな懸賞金をかけてゐる

一、汪精衛氏卅萬元、二、軍長廿萬元、三、師團長十萬元、四、旅團長五萬元、五、聯隊長三千元、六、大隊長千五百元、七、中隊長一千元、八、小隊長三百元、九、下士官五十元、一〇、兵士十元

汕頭市政府開廳式

【汕頭廿三日發國通】戰塵の中から營々と築きあげた汕頭市政府の開廳式は廿三日午前十時から華々しく擧行された、これにより今日までの善後委員會といふ非常組織は解消新たに朱委員長の就任が宣せられ日本側の祝辭があつて後閉會した

ナポリとゼノアに名譽領事を設置

滿伊關係の緊密化を示現

外務局では滿伊關係の緊密化に伴ひ今回ナポリとゼノアの兩市に名譽領事を置くことに決し、イタリー政府の諒解を得たので左の二氏に名譽領事を委囑任命、廿一日の官報で發表した

ゼノア駐在名譽領事を委囑す ヂャミロ・チャナリ

ナポリ駐在名譽領事を委囑す ロイキ・ビンテリ

ソ聯紙の論評

對日滿態度を示唆

滿蒙國境確定委員會解散の前後よりソ聯側の對日滿態度は漸次冷却の兆候を見せ各種外交問題の解決遷延態度はこの間の事情を裏書する感があるが、ノモンハン事件停戰以來沈默を守つてゐた右事件關係の記事が最近政府機關紙に發表され注目を惹いてゐる、即ちクラスヌイ・クロート紙（ソ聯軍需人民委員部機關紙）は過般の紙上にノモンハン事件を再びとり上げ日本政府が發表してゐる日本軍の死傷一萬八千は著しくゆがめられてゐる本戰鬪における日本軍の失敗は日本軍部がソ聯の五ヶ年計畫遂行の實績を過少評價したことに歸せらるべきである旨を報道、自國重工業の成功を謳歌してゐる、而してかゝるソ聯紙の論評は對フィンランド戰の作戰拙劣が一般に喧傳されてゐる際の反駁と對內的狙ひのゼスチュアーとも見られるが何れにしても再びノモンハン事件を拉致したことはソ聯側の現在および今後の對日滿態度を示唆するものとして日滿側の關心を集めてゐる

臨時國務院會議

第八次臨時國務院會議は廿三日午後一時から總理官邸に開催左の一件を上程可決した

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすの件

人事往來

着京

▲福本順三郎氏（大連稅關長）二十三日來京ヤマトホテル ▲下田勝久氏（旅順高等法院檢察官長）同 ▲町田純作氏（滿洲棉實工業會社員）同ミクニホテル ▲酒香景映氏（三省河商工公會常務理事）同 ▲飯田定吉氏（官吏）同蓬萊ホテル ▲井伊勇氏（東邊道開發社員）同 ▲石島寛氏（官吏）同 ▲八木市松氏（東滿新聞社員）同 ▲北村惣吉氏（哈爾濱洋灰常務）同國都ホテル ▲片岡帝一氏（大阪久保田鐵工所重役）同 ▲有近鋼生氏（旅順工科大學教授）同 ▲多田敬由氏（滿洲航空社員）同 ▲竹中喜藏氏（錢高組員）同 ▲富村正三氏（土木請負業）同 ▲菊池武之輔氏（滿鐵社員）同 ▲根津孝一氏（日滿商事）同松屋ホテル ▲中山正喜氏（滿拓社員）同

出發

▲黑木猛氏 東京へ ▲千秋廣氏 大連へ ▲山田高氏 同 ▲村田前滿日社長 同 ▲近藤恭弘氏 同 ▲齋藤增次氏 安東へ

社説　議會論議の低調

[illegible]

秩父宮殿下　三度戰線を御巡視

【福岡國通】畏くも金枝玉葉の御身をもつて去る十四日東京御發以來中南支戰線を御視察あらせられた秩父宮殿下には廿三日午後零時五十六分太刀洗飛行場着の日航機信濃號にて御歸還遊ばされた、飛行場には兒玉福岡縣知事、中山日航福岡支社長等官民代表御出迎へ申上ぐれば、宮殿下には御疲勞の御色も拜されず御少憩の後同○時○○分再び信濃號に召され御機嫌麗しく空路御東上遊ばされた

南寧戰蹟御視察

【廣東二十三日發國通】南支戰線御視察の秩父大佐宮殿下には御附武官を隨へさせられ二十日午後零時五十五分御召機にて南寧飛行場御着、○○部隊長以下各將星の御出迎へをうけさせられつゝ御召機より降り立たせられ直に○○部隊長より飛行隊の活動情況、○○基地の諸施設に付ての御說明を御聽取、次いで○○司令部、欽寧派遣軍司令部に成らせられ○○部隊長○○司令官より軍狀を御說明申上げ更に○○部隊本部、○○司令部に成らせられ○○部隊長より部隊の情況に關する御說明を御聽取の後同本部に於て野戰料理の極めて御質素なる御晝食をとらせられ御食事後宮殿下には部隊本部前に陳列の敵戰車、トラック、サイドカー等鹵獲兵器を高橋勇少尉の御說明にて御興深げに台覽、更に南寧郊外砲臺山に成らせられ急坂を畏くも御徒歩にて登らせられわが猛擊に崩れた支那軍砲臺を御見學、南寧入城當時の第一線部隊長であつた東部隊長より當時の戰鬪經過を御說明申上げ宮殿下には地圖と現地を御對照の上御熱心にこれを聞召された、砲臺山を下りさせられた宮殿下には支那監獄跡に陳列の敵迫擊砲、機關銃、小銃等鹵獲兵器を御覽遊ばされたのち○○飛行場より御召機に召され午後五時半發廣東へ御歸還あらせられた

南京御視察

【南京廿三日發國通】畏くも三度大陸戰線御視察中の秩父宮殿下には南支方面御視察の御歸途南京に成らせられ中央政府誕生を間近に控へた南京を親しく御視察遊ばされた、殿下には廿一日午前六時飛行機で城內飛行場に御着、西尾支那派遣軍總司令官以下各將星の出迎へを受けさせられた後、自動車で御宿舍に入らせられた、廿二日午前九時支那派遣軍總司令部に御成り遊ばされ全支に亘る戰況ならびに一般情勢を具さに御聽取、更に西尾總司令官以下現地將兵の勞を親しく犒はせられると共に中央政府の樹立問題並びに在留邦人の發展狀況などについても種々御下問あらせられた、かくて殿下には同日午前十時在南京將星奉送裡に城內飛行場御發、快晴の空を上海に向はせられた

同憂具眼の士の奮起を切に要望

浙東作戰完了　部隊長談發表

【○○廿三日發國通】敵に徹底的打擊を與へて廿二日第二次浙東作戰を完了した○○部隊では新東亞建設のため浙東地區における同憂具眼の士の奮起を要望する左の如き部隊長談を發表

□　□

今や 蕭山奪回を夢想して浙東地區に勢力を集中して反抗を企圖せる敵數ケ師に對し殲滅的打擊を與へその策謀を根柢より覆滅せるのみならず、その主力を消滅せしめて再び起つ能はざるに至らしめ、第三戰區の敵に對し動搖を誘致し同司令官顧祝同をして周章狼狽なすところを知らざらしめた等本作戰の價値は重大にして計りしれざるものあり、茲にわが軍は本作戰の目的を達成せるをもつて豫定計畫に基き部隊の集結を行ひ態勢を整へ更に將來のため行動を策するに決せりそもそも今次作戰の目的はさきに闡明せるが如く地點の占領にあらずして專ら抗日軍に對し一大鐵槌を加へ、抗日の迷夢を覺めしむると共に浙東地區同憂具眼の士に奮起の機會を與へ、もつて日支提携、和平樂土の理想郷を實現新東亞の基礎確立に寄與せんとするに外ならず、若し飽くまで **反省** の色無く抗戰を續けるものあらんか更に膺懲の一大鐵槌を加ふべく茲に本作戰の眞義を明かにしてわが部隊の決意を表明す

特免綿製品申請

本月末締切と決定

滿洲國に於ける特免綿製品即ち特殊用に供される純綿製品の製造は康德六年十一月廿日の產業部訓令に依つて一定の種類に限定されたため滿洲綿業聯合會は今年の生產計畫に當つて全國の需要量を需要者の申請に依つて調査中であるがいよいよ二月末日を以て締切ることゝなつた、特免品の需要者は特殊會社、準特殊會社、各種產業團體、公共機關、工場等の年額需要量（康德七年四月より同八年三月まで）を一括して綿聯に申請することゝなつて居り、右期日迄に申請のないものは需要がないものと認定され配給がなされぬ譯で、原綿逼迫の折柄綿聯も今年は締切りを一層嚴格に履行する模樣である、特免綿製品種類左の如し

縫糸、綿統用糸、紋カード綴糸、漁網及び魚具用糸、水糸、ゴムホース用糸、パッキング用糸、絕緣用テープ、スピンドルバンド及びスピンドルテープ、動力傳導用ロープ、電車用トロリーコード、導火線用索口、工業用帆布、交通運輸用帆布、車輛屋根被覆用帆布、漁船用帆布、ホース用布、ベルト用布、製織工又は機械工用前垂及び手袋用布、工業用濾布、タイヤ芯地、タイヤコード、針布用基布、飛行機用翼布、毛織物仕上用ラッピングクロース、醫療用ガーゼ、トレーシングクロース、オフセット印刷用布、絕緣用布、ゴム靴用布、折紙用布、船舶用具用布

申請はなるべく團體で　綿業聯合會談

特免綿製品需要申請に關しこれが配給機關たる綿業聯合會は左の如く語つた

特免綿製品の割當配給は日本內地では三年以前から實施して來たが滿洲國では今回の申請が最初のことであり、需要者にも不案內のことが多いと思ふ、縫糸でも衣服仕立用の家庭用のものは必要なく、醫療用ガーゼ、ゴム靴用布、洋傘用布等も工場から屆出るから一般消費者から屆出る必要はない、屆出期限は製造割當計畫もあるから嚴守しないと配給は絕對に出來ないものと思ふ、屆出はなるべく組合、協會等團體で申請されゝば好都合と思ふ

外國機擊墜せよ

瑞典空軍への嚴命

【ストックホルム二十二日發國通】蘇聯空軍のスウエーデン爆擊はその後も相續いて行はれてゐるが、スウエーデン當局は廿二日全國の防空部隊に對しスウエーデン上空に飛來する外國軍用機に對してはその國籍の如何を問はず直ちにこれを射落すべしとの嚴命を發した旨發表した

獨機二を擊墜

【ロンドン廿二日發國通】英國空軍省發表＝二十二日正午過ぎ英國北西部海岸上空にドイツ爆擊機が襲來、附近航行の英國船舶を襲擊せんと試みたが、邀擊の英空軍戰鬪機のためうち一機は海上に他の一機はセントアッブスヘッド附近の沿岸に擊墜された、なほ同日午前ノーフォーク沖合海上に來襲のドイツ機は航海中の英トロール船を爆擊フアイフシャー號（五三五トン）を擊沈した

英ソ關係惡化へ

ソ聯も戰爭に加入か

【ロンドン廿二日發國通】英國の對ソ感情は日增しに惡化の一途を辿りつゝあるが、當地外交界方面ではマイスキー駐英ソ聯大使はモスクワに歸還し、目下歸英中のシーズ駐ソ英大使もこゝ當分は歸任するまいと見てゐる、英ソ兩國間の關係惡化は各方面よりこれを證明出來るが殊に

一、英國の對フインランド義勇軍應募規定の公布

一、最近英國の新聞が近東方面に對するソ聯進擊危險性および英艦のペッアモ集結等を書き立てゝゐること

等によつて充分窺はれる、消息通の間では英ソ兩國關係は急激に破局に近づきつゝありその結果先づ英ソ國交の斷絕、ついでソ聯の歐洲戰爭加入にまで至るのではないかといはれてゐる

ソ聯機十三擊墜

【ヘルシンキ二十二日發國通】カレリア地峽方面における戰況は最近頓に活氣を呈しソ聯軍のマンネルハイム要塞線一部突破說も傳へられてゐるが、フインランド軍司令部は廿二日カレリア戰線に於て約二千のソ聯兵を仆し更にソ聯軍飛機十三臺を擊墜した旨發表した

ソ聯艦隊　戰鬪準備完了

【ストックホルム廿二日發國通】最近英佛兩國の對ソ態度が相當硬化し來つた傾向が認められ注目されてゐる折柄廿二日ソ聯政府は北極洋に臨むフインランド領ペッアモ港附近に英國軍艦が出沒するのを認めたとの情報に接し周章狼狽海軍人民委員クズネッオフ氏が空路急遽ムルマンスクに向つたと傳へられる、一方ソ聯北極洋艦隊は既に一切の戰鬪準備を完了待機の姿勢にある、ソ聯政府は最近英國が獨ソ通商の妨害に乘出すべく企圖しつゝありとの報道に對し極めて神經過敏の樣子で官邊の一部では若し英國が通商妨害のためソ聯商船を擊沈するが如き事あらば右は直ちに兩國をして干戈を交へしむる結果に導くであらうとの强硬なる見解を披瀝してゐる

北歐三國外相會談

【コペンハーゲン廿二日發國通】北歐三國外相會見は愈よ今週末を期してコペンハーゲンに開催されることになつたが、スウエーデンはギュンター外相が代表としてこれに出席することに決定した

右會議に於ては歐洲戰爭と共にソ芬戰爭の擴大に對處する北歐三國の態度を決定するものと見られるが三國の協同動作決定まで協議が進められるか否かは疑問視されて居る

支那事變と猶太人（十一）

賣國行爲を暴露

支那を支那人の手に戾せ！

[illegible]支那は正しく航空時[illegible]熱の盛んなる實に[illegible]ものがあつた、宋[illegible]委員長で航空熱を煽[illegible]機買入れに狂奔した[illegible]與つて力あるは勿論[illegible]を促かしたことを忘[illegible]ならない、支那は關[illegible]面交通上の絕對必要[illegible]望無涯然るに鐵道[illegible]達せざるため

行路難 は言語に絕するものがある海上並に江河の航行も船舶不足のため不便夥しい、飛行機に乘れば汽車汽船で三日四日を要したところも半日で飛べる、航空建設は外資をもつて行はれた、中國航空公司、歐亞航空公司は孰れも中西合作（支那と西洋との合同事業）の形式をとりその董事は支那人と外人とに割振られてゐるがこれ全く支那の面子を慮つたためでその

實權は 外人の手にありその經營は外人の意見で行はれる事は申す迄もない

この兩會社は戰前

一、滬蜀線（上海四川間）

一、滬平線（上海北京間）

一、滬粵線（上海廣東間）

の三大幹線の外に論昆線（西康省西藏間）康藏線（重慶雲南間）を經營してをつた、國民政府の航空建設は平時よりも寧ろ戰時に重きを置いた、蔣介石は軍備强化の中心を空軍建設に求めてその完成を圖つた故に百方努力して外國より優秀機を購入し戰爭開始以來はこれが購入に熱狂した

我海軍 のみによる擊墜若くは擊破された數だけでも無慮千五百機を算ふ以てその一斑を察すべきである、斯く檢討すれば經濟建設は全く支、英、猶三者の合作で支那を合作社の管理の下に置いたものである、而してこれはサッスーン在つて始めて出來たもので彼が無かつたなら產れなかつたかも知れぬ、建設を通じて支、猶は膠漆の關係となり英支は水魚の交をなし利害關係上互に相離るるを許さなくなつた、玆に合作前の狀態と其後の狀態とは大差を生じた、從つて

蔣介石 が如何に知日と雖も英國、猶太の意思に反して我國と親む事を得なくなつた、人動もすれば語る、蔣ほど親日の意思の强い者はないと。それはさうかも知れない、併し何としても猶太人の目をぬすんで我と仲善しになれない理由が判然としてゐることを御存じない、又支那事變は蔣を排日に追込んだといふが之も本末を顚倒した言葉で建設が蔣を排日に追込みその結果支那事變が起つたといふのが至當であらう。建設の內容は猶太人の利益が根柢に橫つてゐる、隨つて排他的獨占的の特色が濃いこの計畫完成後になれば彼等の意思に背くもの彼等と

利害を 異にするものは悉く圈外に除外されるものと見なければならない。この意味に於て我國の如きはいの一番に締出さるる運命にある。建設の性質が排他的なる以上當然我が在支權益の破壞が餘儀なくされる。玆に國民政府が全支を統一したものと假定しその場合を想像すれば建設より除外は即ち支那經濟界よりの驅逐で我が對支貿易は繼續されなくなる。これを打開せんとすれば滿地荊棘到るところで鐵條網妨害物を取除かねばならない、中中容易な業でない、何故かと云へばその場合は獨り支那を相手とするのみでないからである、英國は建設によつて支那と一のブロックを造つた以上

必然的 に彼を援けねばならぬ因緣となつた、そのことたるや單なる空想でなく現に今回の戰爭はよく一切を物語つてゐるではないか、而も今日よりも一層厄介な事は經濟建設完了すれば萬端の準備悉く整頓して其實力今日の比でないからである。建設の進捗と共に支那を通じて一般に外國依存と排日意識とが次第に强烈となり北支ですら少壯軍人は我と戰はんとする氣勢を示し南支に下れば軍人の大半は日本と戰つても負けないと傲語することを聞いては彼らの自ら恃むの甚しきに驚かざるを得ない。經濟建設は合作同人の成功だが支那より云へば支那を外國の

統制下 に置いたもので一種の賣國行爲である、蔣、宋は滔天の罪を犯したものと云へる、之を壞さない以上支那は支那人の手に戾らない、支那では何事も容易に理想通り行はれた例がない、必ず中途で挫折するか若くは成功しても歸が這入つてゐる、また天下一統といふもその一統の意味が我國のものと大いに差があつて威令が津々浦々にまで行屆かない、加之官吏が私曲を營むので必ず綻襟が出る、例へば堯舜の至治の如き燦爛たる文字を以て形容されてゐるがよく讀めば疑義百出實際が疑はしい、計畫倒れの典型は王莽と王安石で玆に國情と

民族性 がよく現はれてゐる、また建設は國民政府の全盛を條件として始めて行はるるもので他の政權が代れば自然變つて來る、この意味に於て經濟建設の前途は頗る怪しものである、次は正義觀からで邪は正に勝てるものでない、假令人多くして天に勝つとも天定まれば必ず人に勝つ、只自利利己排他獨占の計畫を樹てて未來永劫天下を私せんとするが如きは到底天の許さざる所である。幸にして支那事變のために此の建設は中絕した、建設は中絕したがその精神は猶ほ消滅しない、彼等の覇業は破れたが外國依存と排日とは依然として元の通りである、此の際有難いのは戰爭で一切の關係が明瞭になつたことである、例へば從來煙幕に鎖された

英猶支 の關係も建設の內幕も亦援支排日の眞相も共に判明した、我國民は豁然としてこの事實を認識し彼を知り己を知るを得た此上は泰然として撥天蹶地の雄圖を講ぜねばならない

紀元二千六百年記念事業

本社主催・協和會首都本部後援

建國功勞者物語募集

わが滿洲帝國は建國以來すでに八星霜を閲し國運愈よ隆昌、民族協和の美しき展開の中に諸般の建設を推し進めつゝあり、本年は友邦日本帝國の輝かしい紀元二千六百年に際會し畢き契りに同慶の喜びを深うした。かゝる時既往を回顧し建國の大業に粉骨碎身せる先人の業績を偲び以て將來のための訓鑑とすることは甚だ意義深きことであらう。肇國草創の際世事多端でありためにかゝる功勞多大にして世に埋もれひろく知らるゝことなく打ち過ぎてゐるものも多々あるであらう。かゝる功業が一般に知られずして忘却されるやうなことがあつては甚だ遺憾であるとせねばならぬ。本社は玆に鑑み日本紀元二千六百年奉祝事業として今回別項規定により隱れたる建國功勞者の實話讀物を公募し銓衡の上優れたるものを表彰し發表なほ單行本として刊行することとした。本企畫の趣旨に賛同あり貴重なる資料に基き振つて寄稿あらんことを切に希望する次第である。

應募規定

一、原稿は滿洲建國當初より今日までに至る間のかくれたる建國功勞者（民族別を問はず）の事實を主としたる一般的讀みもの（日滿支何れにても可、滿文は本社にて日譯す）

一、應募原稿には主題人物の寫眞、その他資料となるべき寫眞をなるべく添附すること

一、應募原稿は四百字詰二十枚を基準とす

一、原稿送り先　新京日日新聞社宛とし「建國功勞者物語原稿」と朱書のこと

一、〆切　三月末日

一、發表　四月中（本紙上）

一、審査　關係方面代表により審査委員會を設け同會に於て銓衡す（右については追つて發表）

一、賞金　一等　一篇　二百圓　副賞　カップ一箇
　　二等　二篇　五十圓　副賞　カップ一箇
　　三等　三篇　二十圓　副賞　記念品贈呈
　　佳作十篇　記念品

一、著作權は本社に歸屬し原稿は一切返却せず

ルーマニア藏相　ブルガリア訪問

【ソフィア廿二日發國通】大戰後ルーマニア國務大臣としてはじめてブルガリアを訪問するコンスタンチネスコ藏相は廿二日特別列車でソフィアに到着した、同藏相の使命は過般來ソフィアにおいて進行中のルーマニア、ブルガリア通商交涉の最後的取決めを行ふ傍らルーマニア、ブルガリア兩國の政治的接近に關する豫備的交涉を行ふにあると見られる、殊に後者の使命については當地外交消息筋ではルーマニア、ブルガリア兩國間年來の懸案たるブルガリア領ドヴールジア地方の一部返還問題を含むものと觀測し若しこの豫備的折衝が成功すればガフェンコ・ルーマニア外相も直ちにソフィアに乘込み正式交涉を開始するのではないかと見て今回のルーマニア、ブルガリア會談を重視してゐる

監察最終打合

第一回全體監察打合せ會に於ける地方側の要望條項の對策に關する總務廳、監察部、企畫處各部の最終打合會は二十三日午前十一時から中銀クラブに開催、審議を行つたが右打合會の結果地方側の要望は正式に採り入れられ監察部の方針として近く各地方當局に通達されることゝなつた、かくて從來地方行政運營上種々障碍となつてゐた諸點がこゝに除去され地方行政と中央監察部の方針合致により省政の圓滑なる遂行が期待される

滿洲大豆の配給窮屈化　關西組合協議

【大阪國通】大阪輸入大豆卸商業組合では滿洲大豆の配給適正を期すべく廿二日大阪、京都外十縣の關係各商業組合代表者の參集を求め對策を協議の結果大豆に關する配給機構は既に決定して居るが今尚各府縣に於て配給が圓滑に行はれず、また滿洲事管公社の措置を俟つに於ては今後の需給狀態は憂慮すべきものがあるので、取敢へず各府縣團體を以て關西地方雜穀飼賣商業組合聯合會（假稱）を結成、業者の善處方を要望することになつた

維新政府司法行政部次長

【南京廿三日發國通】病氣のため逝去した維新政府司法行政部次長彭清鵬氏の後任には交通部次長于寶軒氏が廿日附をもつて任命された、また交通部次長には戒煙總局長朱曜氏が、戒煙總局長には內政部次長張秉輝氏が、內政部次長には李瀾氏がそれぞれ任命された

中銀帳尻

二十日の中銀帳尻左の如し（單位千圓）

		前日比增
紙幣	[illegible]	[illegible]
鑄貨	[illegible]	[illegible]
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]

商況　二十三日後場　各地株式市況

●大連株式（短期）寄付　大引

	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
滿紡	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
同鐵	[illegible]	[illegible]

●奉天株式（短期）寄付　大引

	寄付	大引
土木	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
大業	[illegible]	[illegible]
滿紡	[illegible]	[illegible]
新新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]

手形交換高（二十三日）[illegible]

壯烈、戰死狀況發表
けふ中村中將慰靈祭

【東京國通】南寧作戰に赫赫の武勲を樹て昨年十二月廿五日九塘附近の戰鬪で壯烈な戰死を遂げた故中村正雄陸軍中將の英靈はこのほど無言の凱旋をしたので廿四日午後一時半から青山齋場で渡邊右文中將委員長となり嚴肅な慰靈祭が執行されることとなつたが、この慰靈祭を前にして廿一日午後一時陸軍省に故中將の戰死當時陣中で最後まで看護した永井軍醫中尉の手記に基いて故中村中將の壯烈鬼神を哭かしむる戰死狀況報告書が齎らされ、畑陸相はじめ同期生の武藤軍務局長以下の悲憤の涙を絞つた、その內容は左の通りである

□　□

昨年

中村中將（當時少將）は十二月廿三日午前十一時頃南寧縣七塘圩東北方約二キロの地點で左頰軟部に貫通銃創を受けたが屈せず先頭に立つて九塘西側に向ひ前進をつゞけた、同夜は口の負傷のため粥を啜り、廿四日朝九塘西北三キロの高地に進出午前八時十五分稜線上で敵狀視察中前方三百メートルの距離から狙撃され彈は左前膊の關節を貫通、更に左胸部を貫通して拇指大の肝臟が露出した、中將はこのとき覺悟を決めたものか當番を呼び

大變お世話になつた遺書と遺髪はトランクにあるから家に送つてくれ

と靜かに言つた、それでも中將はかなり元氣で擔架に乘り半田軍醫少尉等が附添つて午後五時九塘に辿りついた當時九塘の周圍には敵が群がり敵の狙擊彈が雨霰と飛び來り砲彈また炸裂して凄慘を極めてゐたが、漸くこの部落の中に二階建煉瓦造りの民家を求め此處で永井軍醫中尉の執刀で開腹手術を行つた、入口の扉もないので食糧投下に用ひた落下傘で入口を閉ざして更に机の上に落下傘を敷いて手術臺とした永井軍醫が刀をとりあげると中將は「みんなよくやつて呉れた、任務を達成した」と靜かに眼を閉ぢた

手術

最中午後六時頃敵の集中砲火が部落に向けられ一彈は手術中の民家の屋上に命中室內は忽ち砲煙がたちこめた天井のアンペラから手術臺に埃が落ちて來たので周圍の者はあわてて切開部を蔽ひ固唾をのんでゐるうちに續いて第二彈が家屋前の道路に炸裂、第三彈は隣家に命中手術は文字通り砲煙彈雨の中に行はれたが、終了後中將は副官を呼び寄せ部隊の指揮を與へ「注射藥をとりに衞生兵をやるといふが危險な所にやるのは注意せよ」等と最後に臨んでも部下を思ふやさしい心情を披瀝してゐた、中將は手術による疼痛と腹部膨滿のため餘程苦しさうに見えたが一言も苦痛を訴へず愛馬に呼びかけるが如く「オーラ、オーラ」と自ら慰めた夜は更けて廿五日午前零時頃になると容體が惡化して來た中將は長い間默禱を續けたが零時四十分頃當番を呼んで「體を大切にせよ」と

注意

を與へ三木部隊長に「三木君御世話になりました、君のところは今回特別の手柄でお目出度う」と言つた、僅かに一本の蠟燭が暗い室內に光を與へ夜氣は冷たく遠くでは連續的な敵砲彈の炸裂が聞えた、副官は傍らで遺言を筆記してゐる、同期生の武藤軍務局長や○○團長宛の遺言が終り副官が「家族の方には」と尋ねると「何もない滿足して死ぬ今度の任務を達成したと傳へて呉れ」と微笑さへ浮べ折柄○○占領の報を傳へると「それで安心した」と安堵の色を示し軈て副官に略綬をつけさせ手術臺に寢た儘「起きねばなりませんが失禮致します」と暫し默禱して居られるやうであつたが何か言つて居られるやうであつたが聞きとれなかつた、午前五時八分全く危篤の狀態に陷り同十八分遂に名譽の戰死を遂げた、腹部貫通（肝臟胃損傷）左前膊骨折貫通、左頰の軟部貫通銃創が致命傷であつた遺骸は古武士が馬皮を用ひたやうに落下傘で包み生前愛された當番が敵の十字砲火を浴びながら部落の外で一輪の野菊と名も知れない熱帶植物を手折り土瓶に活け靈前に供へて

冥福

を祈つた、斯くて大正天皇祭の廿五日の朝は明け九塘崑崙關死守の三木部隊と增援に赴いた中村中將の部隊との握手は成つたのである

羅馬＝磐谷航空
日本迄延長希望
伊國から空の快報

【東京國通】歐亞南方コース極東據點たるバンコックへのわが定期航空はフランスの橫槍で已むなく佛印迂廻の洋上飛行を行ふこととなり來る廿六日龍風號が東京を出發、廣東から壯擧に上るが、かゝる曲折の折柄盟邦イタリーが極東空路開拓の名乘りを擧げ既にタイ國との交渉も圓滿に進み三月上旬から毎週二回往復、ローマ、バンコック間の定期航空を實施、更にこの空路をわが國まで延長する希望を非公式に大日本航空會社に通達して來た

イタリーの極東への航空路は現在アラ・リトリア會社がローマからバスラまで毎週一往復を實施してゐるが、同コースをバンコック並にわが國まで乘入れる事はイタリー多年の希望で先般來アラ・リトリア代表マッコイ大佐がバンコックに來訪、交渉を進めてゐたものでこれが實現の曉はオランダのK・L・M、英國のインペリアル・エアー・ウエイズ、佛のエール・フランスと覇を競ひ俄然東亞への航空路は活潑となる譯である

アラ・リトリアの使用機は廿四人乘りのサボイア・マルケッチイ・S・七十三型三發のイタリーが世界に誇る木筋混合の優秀機である

大日本航空が國際航空聯合會（I・A・T・A・H）に加盟する時の贊成者であり、わが政府もこのイタリーの希望に對しては許可するものと見られるが問題は戰爭中のフランスが佛印通過を許すかどうかの一點にかゝつてゐる

新京中學優等卒業生　晴れの新京中學校卒業式は廿三日行はれたが、優等卒業生は岡英夫、永島忠雋、土屋正俶、釜崎信直、高橋浩二（右より）の五君であつた

切符制も無い戰時下のパリ
哈市歸來白露人談

動亂の歐洲で大戰氣分をまざまざと味つたベルリン某電氣會社勤務白系露人ボビロフ（二七）氏は休暇を得て哈爾濱に住む父母に會ふため廿日歸哈したが戰時下のフランスを左の如く語つた

私がフランスに行つたのは結婚するためでパリに着いて間もなく第二次世界大戰が勃發したのですその當時パリも燈火管制で眞黒闇になり閉口しましたが、今は燈火管制も一部だけで時々空襲警報が鳴る位なものです、物資は至つて豐富でイギリスの様に機雷に脅される心配もない地中海を利用して南アフリカの植民地からどしどし入るので切符制度などやる必要もなくその點は不便を感じなかつた、しかし石炭は補給がつかず不足してゐたやうだ、フランスに住むエミグラントも義勇軍に大分志願してゐましたが多分第一線に送られるでせう、私がマルセイユを出發する直前に近く英國から大軍がフランスに上陸する噂が飛んでゐた、フランスの婦人が男子に代つて皆雄々しくも職を守つてゐる姿には全く豫想を裏切られた形だつた　途中スエズ運河は非常に警戒嚴重で甲板に出ることも禁ぜられカーテンを下すなど物々しい情景でした

新京氷上男子十傑

スケートシーズンも無事終りを告げたので體育聯盟新京事務局氷上競技部では左の十傑表を作成これを發表した、これによると躍進氷上の跡が明瞭に窺はれ、昨年までは十傑表作成不可能の狀態を本年は見事一擲、一路上昇の途を辿つてゐるのは頼母しい（●滿洲新記錄、×滿洲對記錄、△新京對記錄、○新京新記錄、康德六年十二月より二月迄）

△五百米　昨年度最高　林哲夫（新商）四五秒　本年度平均　四七秒
○1 内藤　晋（滿炭）四五秒五　神日鮮豫
2 大谷武男（鑛發）四七秒〇　新京選手
3 田村文男（新商）四七秒一　新奉對抗
4 片　昌男（工學院）四七秒二　神日鮮豫
5 安達和男（市民）四七秒八　神日鮮豫
6 松田義男（新中）四八秒〇　全滿第二
7 鴨井德二（新商）四八秒五　新京選手
8 方　景河（市公署）四九秒九　新京選手
10 岡本　豐（教員）五〇秒〇　新京選手
參考記錄＝内藤晋（滿炭）四四秒三（神宮）

△千五百米　昨年度最高二分三四秒五　林哲夫（新商）　本年度平均二分四〇秒〇
○1 片　昌男（工學院）二分三二秒九　新奉對抗
○2 内藤　晋（滿炭）二分三三秒八　神日鮮豫
○3 安達和男（市民）二分三四秒三　神日鮮豫
4 田村文雄（新商）二分三七秒九　新奉對抗
5 岡本　豐（教員）二分三九秒八　新京各個
6 大谷武勇（鑛發）二分四一秒〇　新京各個
7 方　景河（市公署）二分四三秒九　神日鮮豫
8 鴨井德二（新商）二分四四秒四　新京選手
9 松田義雄（新中）二分四七秒〇　全滿第二
10 岡本時夫（新商）二分五一秒四　新京選手

△三千米　昨年度最高五分二六秒〇　安達和男（市民）　本年度平均五分四五秒二
●1 片　昌男（工學院）五分一四秒〇　新奉對抗
○2 安達和男（市民）五分一九秒〇　新奉對抗
3 岡本　豐（教員）五分二六秒五　新京選手
4 方　景河（市公署）五分四一秒〇　新奉豫選
5 松田義雄（新中）五分四八秒六　全滿二部
6 大谷武男（鑛發）五分五〇秒三　新京選手
7 鴨井德二（新商）五分五〇秒五　新京選手
8 坂本喜一（新商）五分五八秒六　全滿第二
9 岡本時夫（新商）六分〇七秒八　新京選手
10 眞々田俊一（新商）六分一六秒三　新京選手

△五千米　昨年度最高九分〇八秒〇　安達和男（市民）　本年度平均九分五六秒七
●1 片　昌男（工學院）八分五五秒九　神日鮮豫
2 岡本　豐（教員）九分二〇秒六　全滿選手
3 安達和男（市民）九分二二秒二　神日鮮豫
4 内藤　晋（滿炭）九分四三秒三　神日鮮豫
5 方　景河（市公署）九分四三秒五　神日鮮豫
6 松田義雄（新中）九分五六秒五　全滿二部
7 坂本喜一（新商）一〇分一二秒二　全滿二部
8 田村文雄（新商）一〇分一五秒〇　神日鮮豫
9 大谷武男（鑛發）一〇分一六秒七　新京選手
10 李　在雄（新商）一一分四一秒三　全滿二部

△一萬米　昨年度最高一九分二〇秒七　安達和男（市民）　本年度平均一九分一四秒〇
●1 片　昌男（工學院）一八分三八秒八　神日鮮豫
2 岡本　豐（教員）一九分二七秒八　神日鮮豫
3 安達和男（市民）一九分三五秒七　神日鮮豫

本社主催
第二回　忠靈塔　忠魂碑　巡拜自轉車荷重繼走大會

△期日　三月十日午後一時出發
△申込締切　三月八日迄
△コース　兒玉公園前を出發、大同大街を南走康德會館四つ辻を右折忠靈塔に至り參拜滿奉線のゝち兒玉公園を通り西廣場を經て和泉町より鐵道ガード下を抜け寛城子戰跡忠魂碑に至り參拜、滿奉線のゝち和泉町に戻り驛前日本橋通りに出で大馬路を一直線に南關に行き、右折して大馬路に出で左折して南嶺戰跡忠魂碑に至り參拜、滿奉線のゝち大經路を一路北走新京神社前に至る二四粁八〇〇米でこれを三人で繼走す
△チーム　は各官廳會社、商店を以て一單位とす、但し一單位內に於て幾組編成するも自由とす
△選手數　一チーム三名、補缺一名とす
△出場チーム數によつて二分に分つことあるべし
△規定
1、全コースを三區に分割三人で繼走す
△前記出發點より日本橋通り電業支店前迄八粁六〇〇米を一コースとす
△電業支店前より南嶺忠魂碑前迄八粁六〇〇米を二コースとす
△南嶺忠魂碑前より決勝點新京神社前迄七粁六〇〇米を三コースとす
2、一チーム三人を以て編成し一人一コースを走るものとす、一人は一コース以上を走ることを得ず選手の配置は各チームに於て行ふものとす
3、使用自轉車は鑑札を有する普通の乘用車に（實用車自轉車競技規定による）後荷かけに四貫目の砂袋をつけること但し砂袋は主催者に於て準備し競走當日出發點前に於て渡す
△競走車はブレーキ及ストップを裝備すること
△泥除け荷物かけを裝備すること
△ペダルクリップ及競走車用ペダルを裝備することを得ず
△競走車は二十六吋車を使用すること
4、競走者は引繼線に於て次走者に襷と砂袋を引繼ぎ、次走者は引繼をうけた襷をかけ砂袋を自轉車に積みかへ出發すること
5、砂袋の把束用紐は麻紐或は繩を用ふること（チューブバンドは使用を禁ず）
6、途中自轉車に故障を生じたる場合は自チームの自轉車と交換して競走を續けることを得但し砂袋は積みかへること
7、選手間のタッチに類する妨害行爲を禁ず
8、スタートの補助を許さず
9、砂袋は決勝點に於て檢査す
△服裝　選手の服裝は華美、宣傳に類する服裝及マークを附帶せざること
△應援　選手に對する應援は自由なるも自動車オートバイその他乘物に依る應援者が他選手と接近し妨害することを禁ず役員に於て妨害になると認むる行爲ありたる時二回注意を加へ更に繰り返す場合はそのチームを失格せしむることあるべし
△審判　自轉車競技協會に於て行ふ
△優勝杯　體育聯盟新京特別市事務局理事長杯▲一着より五着迄個人賞呈す

後援　特別市公署　體聯事務局
贊助　自轉車商組合商店同業組合

東亞競技大會代表銓衡進む
來月末までに正式決定

紀元二千六百年奉祝の東亞競技大會第一回準備委員會は廿一日午後五時半より國通會議室に於て富田、鈴木の諸氏その他各協會名譽主事廿餘名出席の下に開催今の鈴木聯盟主事の日本に於ける折衝內容報告に基き左の事項を內定したが、正式決定は來月上旬開かれる關東州體協との打合せ後となつた、一方各選手の銓衡方法としては大會期日が切迫してゐるので豫選を廢止し派遣選手定員より五割多くの候補選手を擧げ合宿練習を行ひ正選手を決定することになつた、この銓衡は各協會に依存するが、今回は特に紀元二千六百年の奉祝記念事業大會であるので技倆の優秀者は勿論であるが素質の點に主觀を置き嚴正なる銓衡方法をとることになつた

一、準備委員會構成の件　委員長＝富田直次、副委員長＝鈴木、今雨氏、委員＝各協會名譽主事並に關東州若干名、本部で推薦する者若干名

一、派遣選手數の件　陸上競技三八名、蹴球競技一七名、硬式庭球五名、漕艇（留保）排球競技一三名、籠球競技一三名、ラグビー二三名、自轉車一三名、卓球競技一〇名、軟式庭球一四名、野球（留保）

盗まれ旅行

西五馬路九八土木建築請負業宮津太一（三八）さんは一月二十八日から旅行に出掛けて昨二十一日歸宅してみると何者かに洋服簞笥、ストーブ、本箱、小型抽斗付簞笥等十一點價格約五百圓が盗られてゐるのを發見四道街署へ訴へ出た

北滿に大溫泉鄉

春の訪れとゝもに北滿に一大溫泉鄉が出現するかも知れないといふ素晴しい話がある、所は孫吳、奇克間の國防自動車路線に沿つた遜河西方約八キロの地點で零下數十度あらゆる物が凍てつく北滿の曠野の中に湧き出でる約十八度の低溫泉がこの程發見された、これの發見にすつかり氣をよくした遜河縣公署では解氷を期して滿鐵か交通部に委囑してこの水質檢査を行ひ、その結果良質と決定すれば一大サナトリウムを建設し北滿に名譽の戰傷を受けた日滿軍將兵の療養に或は一般に解放して一大溫泉鄉を作らうといふ計畫であるが若しこれが實現すれば淸溪中心に建設されんとする興安嶺國立公園と共に觀光北滿の時代が現出するだらうと關係者は大はりきりである

林圖們警護隊長

圖們警護隊長林吉氏（五三）は管下警備指導並に狀況視察中のところ廿二日石峴巡視中午後六時卅分狹心症にて逝去した、葬儀は廿四日午後一時圖們驛前において牡丹江警護隊本隊、本隊葬を以て執行される

初めて就職する娘さんへの忠告
心身に受ける大きな變化を覺悟すべきです

戰時下の職業戰線はますます女性の進出を促すやうになつて參りました、これから新しく職業に就かうといふ女性、殊に女學校でも卒業したばかりの若い人たちは今までノンビリと溫室の中で育てられて來たのですから、精神的にも肉體的にも大きな變化を受けることを覺悟してかゝらなければなりません

まづ健康の確保を心がける事

先づ何よりも健康の確保を心掛けるべきでせう、學校時代に自由に飛んだりはねたりしてゐた身體が急に時間にしばられ、デスクや作業場や賣場から離れられないとなると、何かしら精神的な壓迫を感じます、延いてはそれが身體の不調の原因ともなります、これを防ぐに一番簡單でいゝのはラヂオ體操でせう、朝起きた時も、晝休みにも午後の休みにもこれをやるのです、勿論戸外で新鮮な大氣を呼吸しながら、日光に當りながらやらなければ効果はありません、兎角女子の仕事といふと屋內の閉籠められた不純な空氣の中にゐることが多いのですから、休憩時間には戸外や屋上へ出て日光に當るとか、散歩するだけでも身體のためには大へんいゝのです

だらしなくなつて來る生活

次には今まで不自由だつた小遣などが自分の手で得られるやうになり、又家人もさう喧しくいはなくなるところから買喰ひなどをさかんにし出すことで、會社の食事や家から持つて來たお辨當の外に、蜜豆だのお汁粉だのを喰べすぎて胃を惡くする人が案外多いのに驚かされます、會社が退けてからも、映畫だの散歩だので夜更かしをして不攝生をする、それも男の友達でも出來るといよいよ甚だしくなつて、結局は身體を壞してしまふのです、廿歳前後のデリケートな女の身體には些細な不攝生でも忽ち影響があらはれます

おしやれは度を過ごさない事

さうして顏色の惡くなつたのをお化粧で誤魔化す人が多い、お化粧は女の生命とはいへ、度を過ごさないやうに氣をつけなくてはいけません、學校時代には白粉など見むきもしなかつたのが、他の人のお洒落を見習つたりまた異性と接近するやうになつたりすると、何時の間にか仕事を打棄つてトイレットの鏡と睨めつこをはじめます、身嗜み程度なら結構ですが、環境の影響は恐ろしいもので、會社に一人でも派手な人がゐると馴れない人は直ぐその感化を受けてケバケバしい身なりをするやうになります

から、初めて職業に就く人は餘程志操を堅固にし、すべて新しい社會で見聞するものは修養であると思つてかゝらないと、結局その期間を無駄に過ごしてしまふこととなり、場合によつては取返しのつかない結果をさへ招いてしまふでせう

妻や母としての修養を怠るな

なほ慾をいへば家庭の都合や何かで最初から職業につくと判つてゐる人は普通の女學校でなく、職業的な教育を授ける學校へ向つた方が本人にも使ふ側にも好都合でせう、しかし女性の天職は妻となり母となる點にあるのですから、如何なる職業にあつてもその方面の修養を怠らないやうにして下さい

『一夜で出來る美味しい甘酒』

桃のお節句につきものの白酒は口あたりはちよつと甘いやうですが、相當

多量のアルコール分を含んでゐますからあのまゝ子供等に與へるのは感心しません、私のうちにも娘がありますが、ずつと以前から白酒の代りに甘酒を用ひてをります、甘酒はそのまゝでは感じが出ませんので、最初粕だけを擂鉢でよくすりつぶし徐々に汁（甘酒の）を加へてドロドロにのばしますと恰度白酒のやうになります、若し縁起だからと是非白酒をいくらかでもといふ方は、白酒をこのドロドロの甘酒でうすめ少量の砂糖を加へますと、大變美味しく舌觸りがよくきつと婦人や子供から大歡迎を受けませう、更に目先をかへて白酒をカルピスのやうなもので割りましても大變風味のよい飲ものが出來ます、甘酒もカルピスも家庭でごく手輕に安價で出來ますからどうぞ可愛いお嬢樣のお節句に拵へて上げて下さい

甘酒の 拵へ方にもいろいろありますが一夜作り法を申上げませう、普通の米二合と糯米二合を一緒にして少し固い目のお粥を炊きます、糯米が無ければ並の米だけでもよく、若し殘飯でもあればそれを一度ブツとふかしてお粥にしてもかまひません、米四合といふのは米麹一袋に對する分量ですから適宜加減して下さい、お粥が出來たら、米麹一袋分をバラバラに壞して壺に入れ、人肌位の溫湯（一度煮沸したもの）をひたひたになるほど加へて麹がやはらかになるまでそのまゝおきます、粥がどうやら指お突込めるくらゐにさめた時、壺の麹の中に入れおしやもじでよく混せ合せ蓋をして

上から 丈夫な紙を二三枚かぶせ、氣が洩らないやうにキッチリ紐で結へます、この壺を更に新聞紙等で幾重にも包みその上を毛布のやうなもので卷いて壺が逆さになつたり横になつたりせぬ樣注意して、煖房の上に置きます 煖房はなるべく攝氏五十度から六十度位に保ち、一晝夜そのまゝ置きますと大變美味しい甘酒が出來上ります、煖房が都合惡ければ電氣炬燵の中でもよし火鉢に火を埋めて鍋に溫湯を入れこの湯を五六十度に保たせた中に壺を入れてもよろしいでせう兎に角なるべく一定の溫度を持續させることが肝腎です 出來ましたら同量又は半量ほどの水でうすめ、少量の砂糖を加へますと恰度飲み

加減の 甘酒になります、カルピスはコンデンスミルク並罐（三百九十瓦入）一個、精白糖九百瓦、枸櫞酸十五瓦、香料（レモンエッセンス）小量と清潔に洗ひ上げた一升罎を用意します、先づ鍋にコンデンスミルクをあけ、その空罐に四杯の水又は湯を徐々に加へ乍らミルクを溶かし、定量の砂糖を加へて火にかけ焦げつかぬやうおしやもじで混ぜ乍ら加熱沸騰させ火をとめてそのまゝ置きます、枸櫞酸は別に少量の湯で溶いて冷まして置き、ミルクが冷めてしまつてから枸櫞酸と香料を加へ更によく混ぜて罎に移します、ミルクのあたたかいうちに酸を加へますと固まりますから

御注意 下さい、香料は好みにより何を用ひても結構ですが、レモンエッセンスならどこにもあるやうですし萬人向でせう、これは酸と糖分が澤山はいつてゐますからキッチリ蓋をして置けば永く保存が出來ます、戴く時は五六倍の水でうすめます（小竹森芳子氏談）

あかぎれもヴイタミンA缺乏から
何を食べるか？

▲…日本は結核の國であると云はれる、又お臺所に働く者には、あかぎれとしもやけが多いのもさうであらう、それは衞生施設の不備、衞生思想の全からざるにも原因してゐるが、ヴイタミンAに缺乏してゐることも見逃せない

▲…試みに結核に犯され易い人を見ると殆ど偏食者で又多くは

バターや 卵の樣なヴイタミンAに富む食物を好まないのであつて、肺病が遺傳するといはれるのも、かういふ榮養缺陷の多い食物を攝る母親の胎內に孕つた子が健全であり得ないためといはれるやうになつた

▲…又あかぎれの出來易い人にヴイタミンAの多い肝油をのませると容易く治療出來、しもやけに罹り易い人に十一月末から肝油を飲ませておくと有效だともいはれてゐる、以上のことからヴイタミンAが、前の病氣に如何に

大きい役 割を努めてゐるかゞ判るのであるが、從來ともすればヴイタミンAは鳥眼をなくすと許り考へてゐるのは、この際改めなくてはいけないと思ふ

▲…猶この外ヴイタミンAに缺乏すると鼻かぜ、氣管支炎、肺炎、中耳炎、尿道炎にも罹り易く、又蛔虫が寄生し易く、膀胱、腎臟、肝臟等に結石を生ずるともいはれてゐるから、ヴイタミンAに不足しない樣にすることが大切である

▲…では一日にどの位とればいゝかといふと、大體每日一―五ミリグラムは要する、ヴイタミンAを

含む食物 は牛乳、バター、卵黃、いわし、鰊、鮭、うなぎ、ますに多く含まれ、體中に入るとヴイタミンAに變化するカロチンを含む食物では人參、トマト、南瓜、甘藷、バナナ、蜜柑、林檎、ほうれん草、小松菜、大根葉等にありますから、假りに一日三ミリグラムとすれば、純良なバターならば三十瓦、卵黃なら一個半、ほうれん草のおひたしなら小皿の三分の一位ですむわけです、しかし

脂肪をと る時はこれに比例して多く攝り、胃腸の虛弱なるものは野菜から攝取することは困難ですから、肝油やヴイタミンA劑を適宜に用ひることを忘れてはいけません

子供の科學　物知り先生

◇……イセエビはひどくタコをおそれます、死んだタコをサオの先に近づけるとビックリして夢中で逃げ廻ります

◇……エビやカニはその足がもげる性質があり、敵におそはれると自らその足を根元から落して逃げます

◇……魚類はみんな近視眼で、四メートル以上はなれてしまふとハッキリものの形を見ることが出來ないさうです

◇……魚類はみな側線といふ線のやうなものを體の兩側にそなへてゐます、魚はこれで水の振動を非常によく感受し、他の魚が近づいて來たことも判ります

◇……農作物の收穫量と風は關係が深く、ドイツの學者の研究では每秒十メートルの風でいつも植物がゆられてゐると風の全くない時の約三分の一の收穫しか得られないといふことです

◇……日本の燈臺總數は千二百餘ですが、海岸線二十五哩に一つの割合になります、オランダでは海岸線一・七哩に一つの割合で燈臺があります

象牙や寶石の艶出し保存法

象牙や寶石類のつや出しと保存方法を申し上げませう、かういふものは戰時下となるとお買求めになる方も少いでせうが、それだけに保存が大切になります

◇…象牙―これが黑くなりましたら梅酢を布につけて輕く拭くときれいになります、然しこの方法はあまり度々やりますと却つていためますから御注意下さい

◇…鼈甲―これはトノコをつけて磨き油でふきます

×　×

さて寶石類はパラフインで手早く輕くみがきます

◇…ダイヤ、サファイヤ、エメラルドの類はアルコールでみがき水で拭ひ、更に柔かい羊皮でこすりますととてもきれいになります

◇…眞珠―これはマグネシヤの粉の中に一度埋めてから羊皮でこすりますが、但し光眞珠は綿に包むと光澤が落ちますから、これは玉蜀黍の粉の中に入れてしまつておきすと光澤がでてきます

×　×

其他トルコ石は水氣がいけませんし、蛋白石は熱に當ると破れ易いものですからよほど御注意して下さい、でかうしたものを指先にはめておいでの方々はよく注意してみがいてください

季節向の魚料理

鰯の蒸し團子

材料（五人前）鰯十五尾、生姜一個、玉葱一個、味噌十五匁、メリケン粉十五匁、鹽、砂糖、醬油

調理法　鰯は開いて背骨、鰭、頭、尾等を去り組板の上で叩くか挽肉器にかけて細くし擂鉢に入れて生姜と玉葱の微塵切及メリケン粉を加へてよく擂り混ぜ、味噌、砂糖で味を調へて手頃のお團子につくります、これを蒸籠に入れ約二十分間蒸した後取出し熱いうちに醬油をかけて供します、醬油と砂糖で更に味つけをしても結構です

鰤の酒蒸し

材料（五人前）ぶりの切身五切（一切五匁見當）ほうれん草一把、出汁二合五勺、酒、鹽少々

調理法　ぶりは兩面から鹽をパラパラとふつて廿分ほど置きほうれん草はサッと茹でて一寸位の長さに切り五個の小丼の底に敷いてその上に魚肉を一切づつ入れ煮出汁五勺、酒大匙一杯、鹽少々を混ぜたものを注ぎ入れ蒸籠で十五分間蒸して溫いうちに供します、若し手近かに柚子があれば皮を微塵切にして上にふりかけますと一層風味を增します

ぼらの南蠻燒

材料（五人前）ぼら二十五匁（五切分）胡麻油、青葱、鹽、醬油少々

調理法　ぼらの切身はバラバラと鹽をして少量の醬油をかけ約二十分間置きます、フライ鍋に胡麻油少量を煮立て切身を入れて形をくづさぬ樣に兩面から燒き、大體火が透つたら青葱の微塵切をパラパラとふりかけて更にサッと燒き、皿にとり分けフライパンに殘つてゐる汁を上からかけて熱いうちに供します

"靴ずみ"の
鼻をつくやうな強い香は上等品
固くなつても煉り直せます

冬は霜どけ、雪どけなどで靴の汚れもひどく手入れが大事ですが、靴を傷めず長保ちさせるには良い靴墨を塗ることが第一です、靴墨は蠟を主成分として、これをテレビン油や揮發油などで溶かして染料を加へたもので、その最も簡單な見分け方は指でつまんで擦つてみて、殆ど溶けてしまふやうなものならまづ安心出來るものといへます、ザラついた殘りかすのやうなもののあるのは、混ぜたものが多いでよくありません、また匂ひをかいでみて強く鼻をつくやうにテレビン油の匂のするのは良質のものですが、薄く靴に塗つてそれに水をかけてみてよくはじくものや、伸びがよく少量で廣く塗り渡るといふことなど何れも良質の證據です、しかしどんなに良質のものでも使つたあと蓋をキチタとせずにおけば、蠟分を溶してあるテレビン油或は揮發油は蒸發してしまひ墨が固くなり從つて伸びも惡くなりますから、靴墨は蓋をキチンとしていつも密閉しておく注意が大切です

もし乾燥させてしまつたときには、少量の揮發油かテレビン油を入れて煉れば元通り使用出來るやうになります

春先の服裝は？
着物と帶の配色工合

服裝の美といふものは單にそれ自體の美しさばかりに依るものでなくて、寧ろその置かれる環境なり背景なりに左右されることが多いものです

あの美しい友禪模樣のお振袖だつて、山紫水明の日本においてこそ色や模樣の纖細に亙る美しさを遺憾なきまでに發揮出來るのですが、若しこの色彩の單調な線の大まかな滿洲に持つて來てごらんなさい、その美しさは恐らく半減してしまふでせう

「きもの」を滿洲の生活にとり入れるとしても、形なり色合なり柄行なりに、もつと滿洲を背景に置いての考察が欲しいと思ひます、デリケートな模樣より、鮮明な太い縞や絣などの印象的なもの、いつそ無地の「きもの」の上手な配色こそ望ましいと思ひます、もうすぐ學窓を離れるお嬢樣など思ひきつて單色の無地の「きもの」を召して見ませんか？それは若々しい貴女の躍動美を表すに綿物よりも柄物よりもずつとずつと效果的でありませう

□　□

やがて新綠萠ゆる滿洲の春に、私の贈りたい「きもの」を擧げますならば、私は眞先に牡丹色を推しませう、若いお嬢樣なら牡丹色の「きもの」に共色の帶、この場合着物が濃色なら帶を淡色に、淡色のきものなら帶を濃い色にします、帶揚はピンク、これに綠の太い帶締の一本でアクセントをつけます、前のは幾分おとなし向ですが明朗なモダンなお嬢樣ならうんと美しい空色の帶を贈りませう、やはらかい新綠の天地に鮮かな牡丹色と空色の「きもの」を想像して下さい、其處には澁さはありませんが何と明るい快い配色ではありませんか！若い方には牡丹と黃の配色も惡くありませんが、下手をすると輕薄な感じに墮ちさうです

同じ牡丹色でも幾分灰色を混ぜて色をすませますと卅才前後までの若奧樣にも大膽に召して戴けませう、これには嬉し銀の帶かくすんだ綠の帶などお上品でせう、綠は黃の勝つたのはいけません

インテリ好みならいつそ白地の帶にしませう、但し描模樣風のでなくて飛絣の帶を、坊ちやん方の白絣の單衣などで拵へても面白いものが出來ませう、この場合帶締は濃綠若くは眞紅で行きたいものです

日本の春ならば紫の「きもの」は艶にうるはしいものですが、滿洲の春の光線には變に白けた感じであの艶と深さを全然失つてしまふやうに思はれてお勸め出來ません（岡田文枝氏談）

ラヂオ　けふの番組
廿四日【土曜日】【M・T・O・Y　新京放送局】

朝
七、三〇（新京）建國體操
七、四八（大連）入港船のお知らせ
七、五〇（新京）ニュース
八、〇〇（大連）中等滿洲語講座　秩父固太郎
八、二五（新京）氣象通報
八、三〇（新京）（レコード）管絃樂（一）「アルルの女」第二組曲ビゼー作曲、指揮アンゲルブレックによる交響管絃樂團（一）パストラール（二）インターメッツォ（三）メヌエット（四）ファランドール（二）歌劇「蝶々夫人」幻想曲（プッチーニ作曲）指揮ペラによる交響管絃樂團
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東・奉）經濟市況
九、四五（新京）建國體操
一〇、〇〇（大連）經濟市況
一〇、〇五（大連）幼兒の時間　音樂玉手箱（レコード）

晝
一〇、二〇（奉天）家庭の時間「兒童の讀物」平安小學校長佐々木道夫
一〇、四五（哈爾濱）家庭メモ
一〇、五〇（哈爾濱）料理獻立
一一、〇〇（新京）食料品値段
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇一（哈爾濱）土曜コンサート「合唱」
〇、二〇（大連）漫畫劇（レコード）コグマノコロスケ　長谷山羅菊音樂會員
一、三〇（東・新）ニュース
二、〇〇（奉・連）經濟市況
二、二九（新京）國內アナウンス
三、三〇（新京）北米西部向海外放送（一）アナウンス（二）ハーモニカ獨奏と合奏（大連）（一）獨奏　岩崎嵩（イ）亞麻色の髪の娘（ドビュッシー曲）（ロ）箏曲さくら變奏曲（宮城道雄曲）（二）合奏ビクターハーモニカバンド（イ）舊友（ロ）組曲農村スケッチより「農民の行進と村のセレナーデ」（ハ）スパニッシュセレナーデ（ビゼー曲）（ニ）宵闇をゆく（眞野泰光曲）
四、〇〇（東・新）ニュース（新京）氣象通報
五、三〇（新京）レコード

ヴァイオリンと管絃樂（一）ヴァイオリン獨奏ティボー　シャコンヌ（ヴイタリ曲）（二）ヴァイオリンと管絃樂「協奏曲」第八番イ短調（シュポーア曲）スポールディング、フイラデルフイア管絃樂團（指揮）オルマンディ

夜
六、〇〇（大阪）子供の時間　連續劇　たんれん部隊
六、二〇（新京）（二）大阪放送コドモ會　コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）初等ロシア語講座　櫻木新吾
七、〇〇（東・新）ニュース（新京）告知事項・今晩の番組
七、三〇（新京）講演「本年度市縣旗聯合協議會開催に付て」協和會中央本部總務部長　皆川豐治
七、四〇（大連）音樂レポート「子供の報告」大連常磐尋常小學校兒童　大連朝日尋常小學校兒童（指導）樋口理、信川實（ピアノ伴奏）樋口みちゑ
八、一〇（東京）講演「持久戰と家庭生活」法博　下村宏
八、三〇（東京）連續物語「宮本武藏」（十四）吉川英治原作　德川夢聲
九、一〇（東京）管絃樂　歌劇「バグダッドの太守」外、哈爾濱交響樂團
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解說（新京）ニュース、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

哈響が送る歌劇曲三つ
指揮・シュワイコフスキー

後九・一〇

一、歌劇　バグダッドの太守　序曲　ボアルデイユ作曲

ボアルデイユは十八歳頃から歌劇の作曲を初め巴里に出て益す名聲をあげ一八〇〇年此の曲をつくり甚だ好評だつた、初め緩やかな甘美な序奏に起り次いで迅速な華麗な樣が展開される、主曲に渡り東洋風な優婉な諧調と輕快な行進調とが交り氣持がよい

二、歌劇　セミラミーデ　序曲　ロッシーニ作曲

之はヴォルテールの戲曲を題材として一八二三年に完成したもので最も圓熟味の溢れたものである、筋は昔バビロンの王ニーヌスが戀の爲に謀殺されるがやがて呪ひの精靈となつてあらはれ不義の二人は滅亡すると言ふのであつて曲は先づ躍動するリズムに始まり和やかな調にうつり後半は樂音の花火を打上げる樣である

三、歌劇　ジョコンダ　序曲　ポンキエリ作曲

ジョコンダはポンキエリの代表作である、ジョコンダとは劇の女主人公たるバラード歌ひの名である、原作はユーゴーの戲曲「パドウアの暴君アンヂエル」によるもので時代は十七世紀場面は水都ヴェニスの街である、ジョコンダは特にその音樂が優美なことで世に知られる一作で美しいコーラスの背景と相俟つて場面々々のアリア二重唱等がとりわけ綺麗である

創作

曉霧（二）

櫻井辰雄

姉が暗い家を捨てゝ行つた氣持が、深刻に摑めるやうになつた頃、辰吉は今まで無理ないと思つてゐた姉への思ひやりに、激しい顚悲と羨望とを感じるやうになつてゐた。姉は卑怯者だこんな親や妹を自分へ叩きつけて逃げて行つたんだ。つた俺も、なんといふ大馬鹿者だつたんだ。辰吉は現在の自分を反省して自嘲すると同時に、姉の幸福を夢のやうに描いて見た。其頃姉から、鹽澤の家に厄介になりながら或る會社のタイピストとして通つてゐるといふ手紙がきた。その手紙を兩親に讀んで聞かせながら辰吉の姉への感情はすでに憎悪とまで變つてゐた。

辰吉の性格は、それから益すこぢれていつた。自制を極度にまで失つた辰吉は店の若衆に煙草を教へてもらふやうな眞似までして、父への反抗心を募らせた。反省することを知つてゐる辰吉だつたが、反省へと氣が引込まれるのが堪らなく苦痛でもあつた。だが、そんな自分で自分を欺瞞する淺ましい行爲が日一日と續いていくうち、辰吉はもう自分の良心の苛責にさいなまれきつて、身も心もくたくたに疲れて仕舞つた。辰吉は自分で、かうと思ふことが、なにもかも芝居染みてゐるやうに思へてならなくなつてきた。

この頃辰吉は生涯の友ともいふべき賓木亮といふ同年の友を得た。辰吉は賓木に自分のすべてを語つた。永い間、誰にもぶち撒け得なかつた心の火だけに、辰吉が賓木に語る言葉には燃ゆるやうな鋭さがあつた。

しかし、その時の辰吉の前には現實の社會に對する反抗と、束縛された生活に對する敵意とがあるばかりで賓木は單に目前の目標であり、形骸であるより他になかつた。だが、痛みきつてゐた辰吉の心は、なんの慰めともならぬことを知りつつも、矢張り、賓木の溫い慰めの言葉を求めないでは居られなかつた。しかし、所謂、それは形骸よりの空洞な響きに過ぎなかつた。外部からの刺戟を知覺せぬばかりに麻痺し切つてゐた辰吉の心は、最早、內面的に自ら滿足するものを抉りださずには居られない焦躁にかられてゐた。

それは直ちに辰吉の愛讀する書物の上に反應として顯れた。ドストエフスキー全集の一册々々が月と共に辰吉の書棚を埋め、亂雜な机の上にボードレールの詩が埃にまみれて重なるやうになつた。辰吉がペンを握つて自己の魂を紙上に引きずりだして娛しむやうになつたのは、それから間もなくであつた。

ペンを握るやうになつてから一年の後、辰吉は世に同好の者が、如何に多いかを知つて愕いた。と、同時に小學校時代の友であつた三人の同好者達と知つて、賓木を加へ五クラブといふ會を作つた。三人の友の內一人は荻原といつて表具屋の息子だつた。一人は高木といつて判古屋の息子だつた。荻原と高木は餘りペンに親しみのない平常の性格をもつた人間だつたが、綱川は生活の陰翳を多分に含んだ、ひねくれ味をおびた妙な性格の持主だつた。綱川は自分の獨斷的な所說を何時も覆へされることを嫌つてやにつこい反撥をするので、他の友達からはひそかに遠ざけられてゐた。辰吉も、自分の境涯からして綱川の生活內容を知る度に氣の毒だと思ふのだつたが、それでも、かたくなな綱川の折れることを知らない態度に會ふと、其の度に綱川から遠ざからうとする氣持が強くなつて行くばかりだつた。

五クラブの趣旨で月一回の寄合ひがあつた。その時互ひに作品の發表をすることになつてはゐたがそれを守つてゐたのは辰吉と綱川だけだつた。他の三人は、もと／＼形式的にペンを好む者達だつたので、寄合ひには定まつて有耶無耶な口實をまうけて逃れてゐた。そのことを綱川は何時も鋭く難詰するのだつたが、辰吉は強ひて責めなかつた。無益なことを知り過ぎるほど知つてゐたからである。

綱川と辰吉とは性格上、多少の類似點はあつたが、その作品には全く相反した色彩を持つてゐた。綱川は毎月同じやうなテーマを持つた通俗的な戀愛小說ばかり書いてゐた。辰吉は自分の生活に取材した暗い氣の漲つた小說や、ボードレールから享けた廢頽した感覺や痺れるやうな官能によつて、幻想的ないかつい詩ばかり書いてゐた。綱川も辰吉も互ひの作品について、寄合ふ度に、果てしない論駁を交すのが常だつた。辰吉は綱川に、思想も諷刺もない作品に、なんの價値があるかと攻撃した、綱川は辰吉に、面白味も讀者も念頭におかない作品に、どんな意義があり滿足があるのだと言つて反撃した。だが辰吉は、書かずにはゐられないから書くのであつて、綱川のやうに虚榮心から出發した興味本意の作品などは到底、書く氣がしなかつた。それだけに忌はしい嫌悪と侮蔑感とは、對立の形となつて、月々の作品に競爭の色を濃く漂はせて行つた。

辰吉が夜更けまで机に噛りつくやうになつてから、父に呶鳴られる日は、日とともに多くなつて行つた。だが辰吉は父に負けてはゐられないほど精神を消耗し盡してゐた。

賓木と共に鬱々とした生活の嘆きを語り合ふ日は、以前にも增して頻繁となつた。賓木も其の頃には、慰めに疲れて、可成り辰吉の暗い性格の影響を享けてしまつてゐた。

辰吉が熱海の斷崖から身を投げて自殺を圖つたのはその年の五月だつた。幸か不幸か助けられて、ほの暗い灯の點つた留置場で目を醒ました時、辰吉は傷ついた血だらけの頭をかゝへて譯もない情けなさにびしびしと胸を打たれながら放心してゐた。父が迎へに來て署長に永い說教を聞かせられた後、辰吉は曉の汽車に乘せられて、敗殘した形骸を東京へ運び戻された。それ以來、辰吉は涙を忘れたやうな人間になつてゐるのを自分自身で發見したが、もうそれすら愕きに値ひしないほど辰吉の心は崩壊してゐた。

讀書と國民的教養に就いて（五）

——序論的覺書——

守谷良平

筆者は曾て新京圖書館月報に「書窓隨筆」なる題下の一節で右のやうなことを書いたことを記憶してゐるのである。

われ／＼は手にする書物が、自然科學にしろ、生物學にしろ、法律學、經濟學にしろ、又歷史にしろ、文學にしろ、音樂方面にしろ其のあらゆる分野に於て科學的理性と民族的情熱と良心的意圖より所產された古今の良書を繙くことに於てのみ其處にわれ／＼は正しく確實なる知識より發足した教養によりわれ／＼の內面的生活は肉づけられ精神的體重を增高し、そしてそこにのみよき市民としてよき社會人として又立派な國民の一員として國家の命運を擔當する負擔者としてそく／＼と相きしむ時代と步み、時代に忠實なる國民の一員としての精神的具體的條件は整備されるのである

斯くてわれわれの狹き生活環境に於ける生活的體驗以外に、われ／＼は讀書を通じて廣く遙かなる世界の展望があり、而も國家と社會の全體の中における不可缺なる自己の發見と生の把握に基く社會的、國家的に生きることの適切なる道標を樹立し得ることが出來るのである。

茲で筆者の云はんとする處はわれ／＼の存在は究極に於て國家的、國民的存在を一步も出でないと云ふことである。世界と云ひ人類と云ひそれらは只單なる一箇の理念に止まるものである。（「我々が日本に生れ日本に育つてゐる限り日本人であると云ふ以外に何も出て來ないのであります。日本人であると云ふことが出て來る限り吾々の活動は日本文化と云ふものを創造する以外にはあり得ないのであります」（『行としての科學』橋田邦彥著）

茲に上述の讀書のより高き效用性があり、而も其の效用性が一轉して人間の精神的ヴイタミンとしての國民的教養となり、祖國の文化と運命に住營して如何に捨身の誠實と良心を以て生活の現實を愛惜し、遙かなる未來へと繋がる自己と後代の生活行動への誤りなき自戒と生々發展への意義が建設するものである。

（五）結語

『インポータンス・オブ・リーヴイング』は有名な林語堂の名著で紐育で出版されるや忽ちベスト・セラーの位置を獲得し讀書界を風靡し、獨佛伊に飜譯されて所謂日本流の形容詞で云へば洛陽の紙價を高からしめた書物である。

其の譯著が「有閑隨筆」の題名で刊行されてゐるのを入手し一瞥した。其の中の「讀書の眞味」の一節に次のやうに認められてゐる。

「絶對に讀まねばならないなどと云ふやうな書物は、どこにもありはしない。われわれの知的興味は樹のやうに生長し、河のやうに流れる。いづれにしても、樹液のある限り樹は育つであらうし、泉に新しい清水が湧く限り河は流れる。しかも河は努力もせず、目的も定めず、周圍に應じて迂回したり、澱んだり、奔流したりしてゐても、いつかは必ず海に入る。この世に萬人必讀の書などは決してないが、たゞある人がある時に、ある場所で、ある事情の下に、一生のある時期に、讀まねばならぬ書といふものだけはある。私はむしろ、讀書も結婚のやうに、運命とか因緣によつてきまるものだと思ふ」

告

新年文藝入選者尾代菊江氏へ、御住所と本名を本社學藝欄係まで御通知下さい

詩　木馬

中原鋭彥

搖籃であり、生長であり、恐怖である。
暗雲を仰ぎ、大地に構へ
鉛光の交流の中にあつて
飛びこえる。砂にまみれて倒れる。
一瞬……。
これは頑是ない遊戲ではあるゝ
木馬。この飛躍の前に――
私は、骨片を磨き肉を喫く
慄然。東洋の雲をのむ。

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲評論（二月十七日號）時評「日滿爲替一體化の意味するもの」「開拓事業の國策性」「新工作方針の進展の爲に」本山三郎「半植民地國家抗戰の特質」野々村一雄「滿洲經濟年報に寄せて」等（大連、滿洲評論社、十五錢）

△滿洲グラフ（二月號）在滿邦人多の生活を中心に編輯されて居り、三宅豐子「讓人の店」甲斐己八郎「鄕土色燈節」眞船豐「ハルビンの印象」等の記事を盛つてゐる（南滿洲鐵道株式會社、二十五錢）

△精軍（二五〇號）（治安部調査課）

△法律時報（二月十五日號）（大連、法律時報社、二十錢）

間諜つく

河富士子

「野鹿物語り」（『モダン滿洲』二月號）

この長い小說の前半にはうなづけるものがある。時代もつかめるし明治時代の通俗小說じみた組立ても、悪も角も……

一人の女がそれまで物質的に助けてくれた滿洲にゐる醫師の所に嫁ぐといふ話はわかるのである。だが、その後からが崩れてゐる。夫との愛情のない生活。やがて子供が出來、女は子供を愛することによつて落ち着く、これも常套的過ぎるが先づ良いとしよう、しかしその後、夫の生活が亂れて行く、つひに妻は內地にかへる、男は醫學上の何かの發見をし學位を得る、そこまで來るともう描寫は出來て居らず、讀者には一向に首肯出來ぬのである。しかし小說が讀者をまごつかせては困るのだ。この小說はその大事な所に缺陷を有つてゐる。（御垣衛士）

無閑隨筆（一）

大內隆雄

「蜂窩房」

和氣濟三郎氏から『三田文學』の去年の十一月號を送つて貰つたので通讀したが仲々面白かつた。新人創作特輯號なのである。

やはり卷頭にある「蜂窩房」といふのが印象に強く殘つてゐる。百四十枚といふ、分量からも力作の方である。

大學を出て、就職戰線に（事變前の話である）打つて出る氣持もなく、ふと新聞廣告を見て、アパートの管理人になつた男が主人公である。そのアパートに現はれる幾組かの男女の物語なのだが、作者は仲々巧みにこれを物語つてゐる。

まあ風俗小說の範疇に屬してゐるのだが、作者がそれぞれの人物に對して溫かい愛を持つて書いてゐるのが大いに好感を持てるのである。ちよつと例の井伏鱒二の「多甚古村」を都會に持つて來たといふ風な作品である。

「空想部落」

映畫になつた「空想部落」はひどく評判が惡いやうであるが、しかし、あれはあれで相當に良い作品ぢやないかと思ふ。

批評家の言ひ分の中で、あのやうな空想を映畫に持つて來たのが間違つてゐたといふのが大分ある。無論小說と映畫とがこの場合相當違つたものになつてゐることは私も認める。しかしやつぱり映畫には映畫の良さがあつたのだと思ふ。

もう一つ、この映畫で感じたのは、あの俳優たちの「舞臺的な」演技であつた論をなすものは、映畫には映畫的な演技でなくてはならぬと言ふであらうが、映畫に持ち込まれた舞臺的な演技も斯うした映畫の場合には大いに魅力があると思つた。

胃潰瘍・胃酸過多は全身の病氣です

新ヒポクラテス醫學の話

醫聖の父と謳はるゝヒポクラテスが醫學の體系を樹立してから既に二千四百有餘年。近世醫學が餘りに人體の局部的研究に偏して治療の實際上に一種の行詰まりが感じられるやうになりましたので最近此の行詰りを打開せんとして

新ヒポクラテス學派

なるものが勃興し、人體の綜合的研究から出發して胃腸疾患の病理及び治療法に一大飛躍を與へるに至つたのであります。

此の新ヒポクラテス醫學の進歩的研究によりますと、胃酸過多症や胃潰瘍は決して胃の局部的疾患ではなく、體質の異常に基く全身性の疾病であることが明かになつたのであります。即ち此の二つの病氣は全身迷走神經の異常に緊張した體質から起るのであつて、迷走神經の緊張は胃腸の蠕動及び其の分泌力の異常亢進を招き、その結果として胃酸過多又は胃潰瘍を發生するに至ると云ふのであります。東大の吳博士や獨逸のエッピンゲル氏等は、動物の迷走神經に刺戟を與へて急激なる胃潰瘍と胃酸過多症を發生せしめ得るといふ興味ある實驗を發表して居ますが、然らば人體の迷走神經緊張性體質を作るところの

根本原因となるもの

は何であるか。

此の點に就てもまた新ヒポクラテス學派は重大なる發見を遂げまして、體內のインシュリン及びビタミンBの缺乏が其の根本原因だといふことを實證し得たのであります。獨逸の病理學者ローレル氏の如きは胃潰瘍・胃酸過多症患者にインシュリンとビタミンBの大量を投與することに依つて忽ち迷走神經の緊張が減退して胃酸度の減少と胃粘膜の炎症の消失とを來し、早きは翌日より、又は數日中に疼痛が去り、五六週間で潰瘍の一部又は全部の消散を見ると云ふ驚くべき臨牀實驗を發表したのであります。

斯くて新ヒポクラテス醫學の

大なる功績に依り

インシュリン・ビタミン療法なるものは全世界の消化器病學者間に異常のセイセーションを喚起しつゝあるのであります。

從來は此の新療法が明かでなかつた爲め、胃潰瘍・胃酸過多と云へば專らアルカリ劑が試みられてゐたのですが、アルカリ劑で胃酸を中和すると、後で胃の酸度がアルカリ使用前よりも上昇すると云はれ、シッピー氏は八週間內外で胃潰瘍の惡化を來し、更に長期の使用で腎結石症を起すと報告して居ります。

然らばインシュリンとビタミンに依る新療法を實行するには如何にしたらよいか。それには生物劑として有名な若素（わかもと）を服用するのが最も

有効適切な方法

であります。本劑の中には極めて血液同化性に富む多量のインシュリン類物質と、生物中第一位と云はれるほどの大量のビタミンBが含有してゐる事は既に治療界の定評となつてゐます。しかも本劑中に含有するビタミンBは麥酒釀造副產物等と異る極めて活性度の高きものであり、更に本劑は此のインシュリン・ビタミンBの外に尙は各種活性酵素・ビタミン・アミノ酸・グルタチオン・有機無機性榮養素――等々の諸成分をも綜合含有して居まして、單一成分の藥物には視られぬ獨特の細胞原形質賦活作用に依つて胃腸實質の細胞に再生の活力を與へ、その細胞の中の原形質の榮養をも增進しますので、胃腸疾患の治癒促進の上に新ヒポクラテス醫學の理想に合致した進歩的の効果を齎すものとして大いに世の注目を引いて居ります。

腎臓炎になるとなぜ身體が浮腫むか

腎臓醫學に凱歌！

腎臓炎に浮腫（むくみ）は付きものでありますが此の浮腫の發生機轉として最近最も信じられてゐるのは『血漿蛋白缺乏說』といふ新學說であります。

抑々人體の血液中には常に一定量の血液蛋白が存在してゐるのですが、腎患者の血液を檢べてみますと血漿蛋白量の甚だ減少してゐるのを見る事が出來ます。これは腎臓絲毬體毛細管の蛋白透過力異常亢進によつて全身の血漿蛋白が尿と共に排泄せられるからであります。斯くて血漿蛋白の減少を來しますと血液の膠質滲透壓が弱くなりますので血中の水分は血管壁を滲透して細胞組織の方へ引きつけられてしまひます。これが浮腫であります。斯樣な譯ですから浮腫の治療には血漿蛋白の補給が最も

緊要

なのでありまして、從來の如く利尿劑又は水分多き牛乳・煎藥の如きを用ひて腎の仕事に過重の負擔を强ひるが如きは百害あつて五十利なき誤れる治療法であると云ふのが最近の新說であります。

そこで泌尿器病學者レオン氏は、腎患者の體內に蛋白を補給する事によつて、如何なる利尿劑も奏効せざる頑性の浮腫も極めて容易に消退することを發表し、續いてヘストリン氏等は蛋白は常に浮腫に著効あるのみならず腎炎の根本原因とも云ふべき全身血管の硬縮を恢復せしむる上にも顯著なる効果があり腎炎の根本的治癒を促すには蛋白療法を措いて他に代るべきものなしと主張し、且つ本療法によつて忽ち尿中蛋白が消失し血壓が下降し浮腫が消散して、如何なる慢性の腎炎も極めて迅速に治癒するに至るといふ驚くべき事實を發表し、又其後幾多の學者の追試によつて蛋白療法は腎臓病學界に一大凱歌をあげんとしてゐるのであります。然らばこの蛋白療法を實行するには如何にしたらよいか。普通の

食餌

性蛋白質は腎刺戟作用があるから、腎炎の蛋白療法としては斯樣な刺戟作用のない「消化濟みの蛋白質」即ちアミノ酸を服用するのが最も効果的だと云はれてゐます。然るに複合藥用酵母劑として有名な若素（わかもと）には此のアミノ酸が極めて多量に含有してゐますから腎炎の蛋白療法を行ふには本劑を服用するのが賢明な方法であります。殊に最近學者はビタミンB及びカルシウムもまた腎炎に特殊の効あることを强調していますが若素（わかもと）の中に生物中第一と云はれるほど多量のビタミンBとカルシウムが含有してゐる事實に鑑み、最近若素（わかもと）の腎炎に對する効果が俄然

重大

視されて來ましたのも蓋し當然の事でありませう。而も本劑はアミノ酸・ビタミン・カルシウムの外に尙は諸種の酵素や榮養素等が綜合含有し細胞賦活の効果によつて榮養を昂め體力をも增進しますからこの點だけでも腎炎の治療に著るしき好影響を與へるものとして大いに一般の注意を喚起して居るのであります。

この若素（わかもと）は東京芝公園、わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、二七〇瓦入、千錠入粉末九〇瓦入、一日分々五・六錢（小兒には二、三錢）の廉價で發賣されてゐます。

關東州滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次販賣してをります。

実話

常習便秘が因で ニキビ・吹出物に惱まさる

（新潟縣村上本町）小林いと

私は昭和十二年の三月高等女學校を卒業後、家庭で裁縫を致して居りましたが運動不足の爲か、兎角便秘しがちでして、初めの間は

腸內醱酵てガス

が出て仕方ありませんでした。便所に參りましてもホンの少しか出ず、不快な每日を過ごして居りました。所が其後次第に通じがなくなりまして、四五日位ないのが普通の樣になつて來ました。そしてこの便秘の故爲でせうか、頑固なニキビ、吹出物が生じて來て外出するのさへ恥しく家の中にばかり引籠つて困りました。

或る日のこと友達が訪ねて來ましたので、訊ねられるまゝに事の次第を話しますと『それならいゝ藥がある。』と言つて教へてくれましたのが「錠劑わかもと」でございました。そこで早速近所の藥店から一本買つて來て服用を始めました。所がこれがよく効いて數日の後には氣持のいゝお通じがある樣になりましたので、すつかり元氣付き何も樂しく服用を續けました。かくて大體くに規則正しく快便を見る樣になると共に、惱みの種のニキビ、吹出物も自然によくなつて來ました。顔色も日增によくなり、愉快な每日を送れる樣になりました。

催涙彈投下！

きのふ第一日南廣場

妥協點に到達か？

自轉車業者 日滿代表けふ懇談會開催

日滿双輪界に時ならぬ嵐を捲き起した滿洲國自轉車輸入統制組合問題は日滿業者代表の新京乘込と共に關係當局と交渉中であつたが、漸く妥結點を見出したもの如くけふ二十四日午前十時から軍人會館に於て政府當局をはじめ統制組合員、內地及び滿洲側各代表集合はゆるい吳越同舟で「自轉車組合懇談會」の名稱の下に本問題について腹藏なく意見を交換すること、なつた尙公園前トキワホテル投宿、政府當局と交渉奔走中であつた內地代表中山日本自轉車輸出組合理事長は言葉少く次の如く語り本問題の圓滿解決近しを暗示した

自轉車輸入統制組合設立については色々の經緯があつたやうだ、當局の意向も伺ひ參考になることが多かつた、我々もはるばるやつて來た甲斐があり使命を達したと思つてゐる、いづれにせよ業界のために適當な解決が得られることと思つてゐる

既有商權承認　政府意向

滿洲國自轉車輸入統制組合問題に付て來京待機中であつた內地、滿洲兩業者代表は二十三日經濟部に山梨商務司長を訪問政府の意圖を打診したが、政府の方針は大體次の如く判明した

即ち組合加入業者は九店に限定するものではないが、輸入並に配給の統制を期する上から或程度の限定をなすはやむを得ないとするも加入外の業者と雖も組合より適宜認可の方針をとり統制方針に支障なき限り既有業者の商權を確保せしめると言ふにあつた、かく政府の方針が既有業者の商權を侵害しないと言ふのであつて見れば紛糾した本問題も圓滿なる解決の曙光を見出したものである、たゞ殘される問題は統制組合の機構を如何にするかにありこの點業者側は重大視して靜かに當局の動きを注目してゐる

衛生奉公隊防毒班の活躍

日系警官練習生

滿洲國入りした日系警察官練習生の第二陣二百名は二十三日午後三時新京驛着列車で森川中央警察學校教官に引率されて元氣一杯着京直ちに南嶺中央警察學校に入つた

光なきダイヤ

整然、鐵路の護り

執拗にも敵機は三度國都上空に現はれ悠々飛翔しつゝありて午後七時廿五分空襲警報は發せられた、夜の新京驛はどうかとみれば新京鐵道警護隊の對空監視哨高射機關銃等完璧の防備陣と相俟つて驛員の働き目覺しく旅客、貨物の輸送は圓滑に平常通り行はれて國都の大玄關新京驛は勿論鐵道中樞機關は微動だにしない、三度の空襲にもめげず警報發令と同時刻吉林行二一五列車、同解除の十分四平街行七〇列車は驛員、隊員の見戍る中を發車した

ついで九時三十分四度の空襲警報がサイレン、電燈點滅で知らされた、同時刻哈爾濱より急行一六〇二列車並に羅津より急行二〇二列車か期せずして到着、何れも待合室へ避難し、ついで管制の最中同四十五分釜山より急行ひかりが蔽光して到着したが待ち構へてゐた驛員隊員の洗練された誘導によつて外來の旅客も文句なしに待合室へ避難先着の旅客とゝもに文字通りに鮨詰にされて靜かに解除を待つ、警護訓練第一日驛に關する限り上上の出來だ、これも警護隊驛員らの手際よき指導にもよるが一に乘客の協力にあることも見逃せない、かくて同十一時敵機は無爲に遁走し管制は解除され警戒管制のまゝ國都の夜は靜かに更けて行つた

二人目の〝不知道〟男

二十三日午前十時四十五分東二條通五八八島館前路上で第一回空襲の防備に躍起となつてゐる中央通署員の制止も聞かず通行せんとする滿人を取押へたところ件の滿人はいきなり打つてかかるのをやつと捕へて本署へ檢束した

右は梅ヶ枝町三ノ二〇足立商店員李龍翔（一八）と云ひ警護訓練の趣旨の認識不足からこの擧に出たものとみられてゐるが秩序整然と係官の誘導に從つてゐる民衆の面前での行爲であり斷乎處分する模樣である

管制の一夜明けて

警察訓練けふ第二日へ

國都の冬季警護訓練第一日二十三日、緊張みなぎる警戒管制下に執拗なる敵機は小癪にも晝間前後二回に亘つて空襲われにいどみ來つたが、鐵桶の布陣下に待機する我地上部隊の果敢な攻擊、市民の回を重ねると共に一糸亂れぬ整然たる秩序によつて被害を僅少に止め敵機を擊攘し盤石の備へある國都の警備體制を誇りつゝ夜に入つた、街の辻々は灰色の夜霧に煙り月淡く冷たい影を落して地上勤務員の慌しい靴音のみ高い警戒管制下の國都の夜はさすがに人影疎ら、薄氣味惡い表情である、午後七時二十五分三たび空襲警報を告げるサイレンの音は折柄夕闇をつんざいて凄いうなりを上げた、瞬間街の動きはぱつたり靜止、光と言ふ光は覆はれさつと薄墨色に一と刷毛された國都の街はすつぼり姿を消した、靜寂のひとゝき、次いで同九時三十分再び空襲警報が發せられたが、一燈洩らさぬ街は求めるによしなく敵機は空しく退散、こゝに幾多課せられた貴重な訓練を體驗して有意義な第一日を終了さらに訓練は一段高潮に達して行く第二日を迎へた

最後の一燈まで

統監部・マイクで注意

月明の中に沈む 國都の影無氣味

完き燈管 敵機夜襲再び空し

防衛下令下第一日目の夜に入つた首都は突如空襲警報のサイレンによつて再び緊張の中に置かれた時に午後七時二十五分、これより先電々屋上に移動した統監部幕僚等は警報サイレン吹鳴と同時にサツと緊張、一瞬燈なき街と化した首都の街々を俯瞰成績如何にと瞳をこらす、十六夜の月光の中霧に霞んだ街々が黒々と横たはつてゐる、東光區長春區南嶺方面に二三點ポツリポツリと燈光が見える、屋上に備へられたマイクを通じて關屋、田村兩副統監はそれぞれ約七分間づつ力强く市民に呼びかける

燈火管制は概ね良好であります、吾々は全力を盡して敵機から我々の街を防衛しなくてはなりません、然してそれは日常的な覺悟と訓練とを經て初めて吾々のものになるのです、諸君の新たなる決意と防衛認識を今後益す强化されんことを切望します

午後七時四十五分空襲警報解除、街は又忍びやかに明るくなつた

續いて午後九時統監本部の關屋、田村兩副統監は再び大塚計畫科長以下統監部員十五名を帶同自動車三臺に分乘して市內の管制狀況視察に出發、順天區事務所、順天警察署等を巡邏防護隊員をそれぞれ激勵した後、于統監を加へ統監部一同は電々屋上に到り、折柄九時二十分のサイレンを合圖に再び空襲管制下に入つた全市の管制狀況を一望に俯瞰した

かくて同九時五十五分空襲管制解除の響きと共に引續き警戒管制に入りそのまゝ訓練第二日へと靜寂の夜は更けて行つた

中央通署管下係員に訓示

二十三日午後六時中央通防支部（衛中央通署）では管下各派出所の取締員を講堂に招集して市原中央通署長より午前午後二回に亘つて行はれた空襲警戒に際して未だその處置が安全でなかつた諸點

即ち空襲警報發せられてより十分間の驗證時間の活用、警察補助員の主要個所配置並に誘導等につき實例をもつて詳細に訓示を與へ萬全を期した

［寫眞］燈火管制下の國都を電々會社屋上より見る田村副統監（右）關屋副統監（左）

逃げ出す避難民

それ空襲だ!!サイレン吹鳴と共に係員の指導で十分間以內に歸宅出來るもの以外は其場からどしどしと所定の假避難所に收容してゐるが、この避難行動は特に交通整理に重點を置いてゐる關係上、避難所は唯單に會社の地下室や屋上或は交通繁華な附近にある空地を利用してゐるに過ぎないのである、所が地下室、屋上に逃げ延びた者は別として空地に避難した連中には係員の居る道路さへ通らなければ良いのだらうと云つた樣な考へを抱いてゐる向きの者が滿人繁華街に多く見うけられた

即ち空地を利用した假避難所は恰度底のない袋を置いてある樣なもので係員が懸命になつて避難民を送り込んでもう五、六百人に達しようかと見ると何のことは無い、百名かせいぜいいゝ所で二百名と云つた形だ、良く調べてみると後の方の道路からこつそり逃走するものと判つた、何に喰はぬ顏をして再び道路に飛び出しては係員に引き戻される、かうした情景が何回となく繰り返され萬全を期した避難訓練に大きな黑星をつけた

これは本ッ物！ 南廣場に催涙彈

釘づけの避難民…貴重な貰ひ泣

廿三日午後三時十分敵機は再度國都上空に飛來したとみる間に南廣場避難所附近に一時性瓦斯彈を投下して悠々機影を晦ました

この假想敵機襲來のサイレン鳴り響くや通行の人馬は決り係官、補助員らの鮮かな誘導に足並揃へて避難所に入つて見事な訓練振りを見せた折柄南廣場附近に突如ボンボンと異樣な爆音が起つたと思ふや濛々たる煙を吐き出し南風に煽られて廣場に避難した約三百五十名を濛煙に包む

あッ催涙瓦斯だ、期せずして人々は口を塞ぎ眼をハンカチで掩ふ、だが係員防毒班員ら咄嗟の機轉で風下へ慌てず騷がず再度整然と避難した

風上の喫茶ハリウッドから金泰洋行一帶に待避してゐるタクシー、馬車、人力車等この瓦斯に逃げ出しもやらずこれは堪らんと云つた風の呻き聲が彼處此處からする、その中を颯爽と通行御免の標識を押し立てゝ行く電報配達夫君の防毒マスク着用の姿が如何にも賴母しい

續いてトラックに乘つた防毒班が超スピードで鐵北へ向つて驀進する、彼處に敵機の巨彈が落ちたのだらう

かくするうち同四十分敵機は國都防備の完璧陣に乘ずる隙なく逃げ去つたのである、催涙瓦斯による實害は何等なく避難交通訓練は上上の成果を收めた

寬城子戰線に おむすび部隊

國婦分會一汗 固めるお臺所陣

寬城子警護隊の總本部である寬城子署では他の各署のやうに係員に對して折詰の辨當を給與するやうな店がない關係でさて何うしたものか？と頭を捻つてゐたところそんなことでしたらお安い御用とこの大任を買つて出たのが國防婦人會寬城子神笠分會長、幹部と相談一決警護訓練第一日目二十三日から三日間每日午前九時から十一時迄會員三百名を三班に編成係員三百餘名の炊き出しをする事となつた

第一日目には神笠分會長を始め會員二十四名が本署炊事場を戰場に汗だくとなり握り飯を作つて第一線にどしどしと送り出してゐる

喫茶店大繁昌

燈管下の街をゆく

◇…警護訓練第一日の夜は來た、月が靜かに燈火管制下の街を眺めてゐる、嚴重な交通停止の聲と冬季が物を言つて無用の見物人も出ず、寒い街は午後七時過ぎから既に物音一つ無く眠つてゐる

それでも商店街吉野町あたりは流石に人出を見てゐたその中を縫つて花街の姐さんが何時もはオツにすましてゐるのだがこの夜だけは暗闇に氣を許してか慌しい姿を見せる

◇…午後七時二十五分、空襲管制だ、これらの通行人達はどうせ立止るなら喫茶店へでもと吉野町近邊の喫茶店、時ならぬ混雜を見せて俄然大入滿員となる、映畫館の方は每度やられる避難演習を恐れてか客足は聊か敬遠の態……

電々屋上に移された統監部は早速放送開始だ、アナウンサーが挨拶して關屋副統監が交つてマイクに立つまでの數分間、三中井横豐樂路附近のどのビルか、あかあかと窓をそのまゝにしてゐるのが見えて、それを叱咤してゐる訓練員の聲が風に乘つて聞こえてくる

◇…この電々屋上へ行くの迄廊下は目下改造中の部室がある爲め管制準備不完全とあつて電燈をすつかり消してしまつてあるので屋上へ昇る連中暗中を摸索して悲鳴をあげてゐる

闇の街を縫き大同大街を北進する、所々灯、がちらちらと點滅する、その中でもはつきりと日滿商事社宅に一燈、ダイヤ街に一燈一明星ならぬこの夜の大きな黑星であつた

◇…三絃の音に不夜城を誇る花街五馬路は繁華を極めた昨夜の風景に較べるとサイレンの消えた樣だ、サイレンと吹鳴と共に空襲下に入つた七時二十五分文字通り人の子一人通らぬ靜けさの中に路上を警戒する係員の姿をおぼろに見うけるだけ避難

繁華街もさすがに人通り少く靜かである、延いてはネオン街にも影響して各店客足は少い、レコードの音も心なしか低くホールのざわめきも平素より低聲だ、暗い街の風紀取締りに管下各署保安係員は動員首警保安科小川警正陣頭に立つて指揮、全市を遊行嚴重警戒の目は鋭く花街或は薄暗い街の辻に光つてゐる、訓練第一夜、國都の夜の風紀は亦完璧である

◇…整理は完全に行はれた、この時突如七時三十分西五馬路三一ノ一料理店新開樓前交叉點に催涙彈が一彈見舞つた、幸ひにして避難整理の完了した後であり催涙彈は地上に炸裂、白煙の瓦斯は無風狀態にある地上をゆるやかに擴がつて自然に消滅した

◇…かくて同四十五分國都の大空に鳴る空襲警報解除のサイレンにほつとする人波に揺れる附屬地繁華街もさすがに人通り少

總務廳國婦分會

總務廳內の女子事務員、タイピスト孃によつて今回國防婦人會首都本部總務廳青年分會では二十三日午後二時半より發會式を擧行した

滿日社長更任挨拶

任期滿了退任した滿洲日日新聞社社長村田慤麿氏は二十三日新任社長松本豐三氏と更任挨拶に來社

鳩合せ

遂二、三日前のこと海上ビル內某會社へ電話で「海上ビル火事だといふがどんな模樣か」と問合せて來た▼驚いたのは寢耳に水の某會社、ソレッといふので同ビル群小會社へ連絡をとると共に社員一同部署に着いたが一向火事らしき模樣がない▼シビレを切らした社員一同ハテ面妖な！火事は何處と眺めるとなんと海上ビル傍らのニーヤのキンツバ屋竈が半燒したものと判つて一同ロアングリはキンツバならぬ眉唾な話

けふの天氣 きのふの氣溫

天氣と豫報

南の風强く曇 時々晴雪模樣

最高零下〇度七 最低零下六度八

淺春胡同 【五五】

工　清定 作　白崎海紀 繪

驀進(1)

ここ二三日、蒙古風の凪いだ日が續いたと思つたら楊柳や楡の若芽がいそいそと伸び支度をはじめて、街は穏やかな光の中に浮かび上つた。

一冬の煤煙と早春の黄塵にくすんだ家々も、何となく仄かな明るさを反射するやうになつた。

支局長はじめ同僚に千也子やルミをも數へた知人を加へてもそれは決して夥しい見送人だとは言へないが哲也の心は出征兵士にも劣らない亢奮と歡喜に、彈みきつてゐた。

支局長のだみ聲が一際飛びぬけた『日の丸行進曲』の齊唱を、大連行のホームの一隅で、聞き入つてゐた彼は、突然、うしろから
(馬鹿何處へ行くんだ)
「混蛋!你上那裏去」
といふ罵聲が聞えて來たのに、ぎよつとしてふり向いた。すぐ傍に兩瞼を赤く腫れ上らせた滿洲人の娘が自分に何かを言ひかけようとしてゐた。

「や!村崎さんですか、お芽出度う」

その纏尻を邪慳に引張りながら、見知り越しの若い司法保警士が、てれくささうに一寸笑つて會釋した。

「どうしたんです?一體」

哲也は一歩進み寄つて尋ねた。

「なあに、此奴、例の不逞團の馬の脚の、そのまた情婦なんですがね。大連へ參考人して護送する所ですよ。それが、あんたの姿を見てのこのこ近寄るもんですから、つひ…」

さつきの仰山な聲が、自分ながらおもはゆくなつたらしい警士が、すらすらと辯いた。

五馬路の煙草店で、留守番をしてゐた女にちがひない。

「例の本部に殘つてゐた女でした」

哲也は顎をしやくつた。

「よく御存じですな。何でも今年の春、本溪湖の山奥から出て來て、あすこの店員と喰つきやがつたんで、どうせ伴れて行つた所で、大した役にも立たないでせうが…」

人のよささうな警士のかうした話にも、一向無關心に、女はなほも哲也の姿を見上げ見下してゐた。

たとひ、警士から李鳳珠といふその娘の名を教へられたとしてもそれは西口以外の人の感慨を牽く、何物にも値ひしなかつたであらう。

プラット・ホームの雜多な感情にかかはりなく、列車が辷り込んで來た。

眼に涙を一つぱい溜めた千也子を、車窓からつとめて見ないやうに、顔を出してゐた哲也のところへ、ルミがひよつこり寄つて來た

「村崎さん、これ、あたしのほんの心ですの」

涙にふるへる聲と共に、白いハンケチに包んだものを差し出した。

ベルが鳴り響いた。

「村崎哲也君、萬歳!」

支局長が眞先に大手を廣げて、音頭をとつた。

『祝從軍記者村崎哲也君之壯途——大日新京支局』の長旗が、搖れる。

和する人々の聲、々!

「萬歳!」

和する人々の聲、々!

「萬歳!」

和する人々の聲、々!

「しつかり、やつてくれ!」

さすがに哲也の感慨は無量だつた。

列車發着表

○大連方面行
- 大連行 前二時三十分
- 奉天行 六時廿五分
- 釜山行 八時
- 奉天行 八時卅五分
- 大連行 九時三十分
- 營口行 十時三十分
- 四平街行 十二時三十分
- 奉天行 後一時 五分
- 大連行 一時四十分
- 大連行 二時三十分
- 大連行 三時廿五分
- 四平街行 四時五十分
- 釜山行 六時五十分
- 四平街行 七時四十分
- 大連行 九時四十分
- 大連行 十一時十三分
- 奉天行 十一時三十分

○哈爾濱方面行
- 哈爾濱行 前三時四十三分
- 德惠行 五時十五分
- 哈爾濱行 六時三十分
- 哈爾濱行 八時 十分
- 哈爾濱行 九時
- 哈爾濱行 後十二時五十二分
- 哈爾濱行 三時十五分
- 哈爾濱行 五時三十分
- 德惠行 七時 十分
- 哈爾濱行 十時卅五分
- 牡丹江行 十一時四十五分

○圖們方面行
- 吉林行 前七時 五分
- 羅津行 八時卅五分
- 圖們行 九時四十五分
- 吉林行 後一時
- 牡丹江行 三時二十分
- 吉林行 七時廿五分
- 清津行 十時 五分

○白城子方面行
- 白城子行 前八時廿五分
- 白城子行 十時五十七分
- 前郭旗行 後五時三十分

○大連方面より
- 大連發 前三時卅二分
- 大連發 六時十八分
- 奉天發 七時四十五分
- 大連發 八時
- 四平街發 八時四十六分
- 四平街發 九時四十分
- 釜山發 十時卅二分
- 奉天發 十一時四十三分
- 大連發 後十二時三十分
- 大連發 三時
- 大連發 四時二十分
- 大連發 五時二十分
- 營口發 六時四十八分
- 大連發 八時二十分
- 奉天發 九時廿五分
- 釜山發 九時四十五分
- 奉天發 十一時三十分

○哈爾濱方面より
- 德惠發 前零時三十分
- 哈爾濱發 二時二十分
- 牡丹江發 六時五十四分
- 哈爾濱發 七時三十分
- 德惠發 十一時三十分
- 哈爾濱發 後十二時五十分
- 哈爾濱發 一時三十分
- 哈爾濱發 三時 十分
- 哈爾濱發 六時四十分
- 哈爾濱發 九時三十分
- 哈爾濱發 十一時 三分

○圖們方面より
- 清津發 前七時五十三分
- 吉林發 十一時廿四分
- 牡丹江發 後二時 十分
- 吉林發 五時廿一分
- 圖們發 八時四十分
- 羅津發 九時三十分
- 吉林發 十一時十五分

○白城子方面より
- 前郭旗發 十二時 一分
- 白城子發 後六時卅二分
- 白城子發 九時 五分

大阪商船出帆

門司、神戸行
- 吉林丸 二月廿六日
- うらる丸 二月廿八日
- 黒龍丸 三月 一日
- 扶桑丸 三月 三日
- 鴨緑丸 三月 五日
- 熱河丸 三月 六日
- うすりい丸 三月 日

(午前十一時大連出帆)

三角、鹿兒島那覇行
- 大同丸 一月廿五日 午後三時大連發

事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビューロー で連絡切符發賣